

FutureNet AS-250 シリーズ

コマンドリファレンス

Ver.1.14.0 対応版

目次

1 はじめに	8
1.1 TELNET サーバへの接続	9
1.2 コマンドの利用	11
1.3 値の長さの制限	12
2 ネットワーク設定	13
2.1 LAN 側 IP 設定	14
2.2 デフォルトゲートウェイ	15
2.3 スタティックルートの設定	16
2.4 ルーティングテーブル表示	17
2.5 ARP テーブルの表示	18
2.6 イーサネットエラーカウンタ表示	19
2.7 ICMP カウンタ表示	20
2.8 プロトコルエラーカウンタ表示	21
2.9 NAT	22
2.10 NAT セッションタイマの変更	24
2.11 NAT エラーカウンタ表示	25
2.12 NAT セッション表示	26
2.13 NAT セッションテーブルの消去	27
2.14 パケットフィルタ	28
2.15 GRE 設定	29
2.16 イーサネットポート状態表示	30
3 モバイル	31
3.1 接続先 APN の設定	32
3.2 接続先ドメインの設定	33
3.3 PPP 接続	34
3.4 PPP 切断	35
3.5 PPP 状態の表示	36
3.6 オンデマンド接続/常時接続設定	37
3.7 WAN キープアライブ	38
3.8 オンデマンド発信のトリガパケットの扱い	39
3.9 IP 着信を行う APN の指定	40
3.10 PPP 無通信切断タイマ	41
3.11 PPP 強制切断タイマ	42
3.12 PPP 再発信待ちタイマ	43
3.13 PPP LCP-Echo によるキープアライブ	44

3.14 PPP VJ 圧縮	45
3.15 モバイル通信量カウンタ	46
3.16 モバイル通信量カウンタの初期化	47
3.17 モバイル通信量カウンタの表示	48
3.18 SMS コマンド設定	49
3.19 SMS の送信	51
3.20 アンテナログの定期出力	52
3.21 発信前にアンテナレベルを確認する	53
3.22 無線種別の選択	54
3.23 アンテナレベルの表示	55
3.24 電話番号の表示	57
3.25 GPS 機能の有効化	58
3.26 GPS 測位モード	59
3.27 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する	60
3.28 測位情報表示	61
3.29 ダイアル連続失敗時に再起動する	62
3.30 圏外状態が継続したら再起動する	63
3.31 通信モジュール情報の表示	64
3.32 SIM 情報の表示	65
3.33 OTA 実施	66
3.34 通信モジュールのソフトウェア更新	67
3.35 緊急地震速報の中継機能	68
3.36 パケットデータ通信速度設定	69
4 ネットワークサービス設定	70
4.1 TELNET サーバポート番号	71
4.2 TELNET 無通信切断タイマ	72
4.3 TELNET ログアウト	73
4.4 HTTP サーバ設定	74
4.5 TCP ダウンローダサーバポート番号	75
4.6 DHCP サーバ	76
4.7 DHCP 割り当て状況の表示	77
4.8 DHCP リース編集	78
4.9 DNS リレー / キャッシュサーバ	79
4.10 DNS ホストファイル設定	80
4.11 DNS ホストファイル表示	81
4.12 DNS キャッシュ TTL 調整	82

4.13 DNS キャッシュテーブル表示	83
4.14 DNS キャッシュ消去	84
4.15 DDNS クライアント	85
4.16 HTTP POST クライアント	86
4.17 HTTP PUT クライアント	88
4.18 HTTP GET クライアント	90
4.19 M2M クラウド設定	91
4.20 M2M クラウドへ接続	93
5 E メールによるイベント通知	94
5.1 外部 SMTP サーバの登録	95
5.2 E メール宛先登録	97
5.3 イベント設定	99
5.4 情報送信イベントの発行	100
6 シリアルポート	101
6.1 動作モード設定	102
6.2 シリアルポート通信パラメータ設定	103
6.3 シリアル/IP 変換機能	104
6.4 TCP トランスペアレントモード	106
6.5 UDP トランスペアレントモード	109
6.6 COM リダイレクトモード	110
6.7 MODBUS 機能設定	111
6.8 シリアルポート状態表示	112
6.9 HTTP 変換モード	113
6.10 SSL トランスペアレントモード	115
7 接点の監視と制御	116
7.1 入力接点の設定	117
7.2 出力接点の設定	118
7.3 出力接点の制御	119
7.4 接点状態の表示	120
7.5 仮想接点出力の設定	121
8 省電力動作モード	122
8.1 省電力動作モード移行設定	123
8.2 省電力動作モードから DSR 信号入力で復帰させる	124
8.3 省電力動作モードから DI 信号入力で復帰させる	125
8.4 強制的に省電力動作モードへ移行する	126
9 ファイルの表示と操作	127

9.1 設定ファイルの保存	128
9.2 技術サポート情報の保存	129
9.3 RAM ディスクから SD カードへファイルコピー	130
9.4 ファイルの削除	131
9.5 SD カードのマウント／アンマウント	132
9.6 SD カードディレクトリ名設定	133
9.7 SD カードファイルによる設定の更新	134
9.8 SD カードファイルによるファームウェアの更新	135
9.9 SD カードへエクスポート	136
9.10 SD カードへログを書き込む	137
9.11 SD カード情報表示	138
9.12 ファイル一覧表示	139
9.13 ファイル内容表示	140
9.14 パケットキャプチャの実行	141
9.15 パケットキャプチャ状態の表示	142
9.16 ファイルの MD5 ハッシュ計算	143
10 運用・管理機能	144
10.1 ログインパスワードの変更	145
10.2 技術サポート情報の表示	146
10.3 装置情報の表示	147
10.4 設定を保存して再起動	148
10.5 再起動	149
10.6 定期再起動	150
10.7 RTC 時刻設定	151
10.8 時刻表示	152
10.9 稼働時間表示	153
10.10 タイムゾーン	154
10.11 スケジュール	155
10.12 備考文字列の入力	157
10.13 FLASH メモリ上の設定データの初期化	158
10.14 設定ファイルの格納先を選択する	159
10.15 設定データを表示する	160
10.16 ログの表示	161
10.17 ログの消去	162
10.18 システムエラーログの表示	163
10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化	164

10.20 オープンソースソフトウェアライセンスの表示.....	165
10.21 SYSLOG 転送.....	166
10.22 ファームウェアの更新.....	167
10.23 Wake on LAN マジックパケットの送信.....	169
10.24 Wake on LAN マジックパケットの再送設定.....	170
10.25 ping 実行.....	171
10.26 名前解決.....	172
10.27 ホスト名の設定.....	173
10.28 テンプレート登録.....	174
10.29 テンプレートの置換テスト.....	175
10.30 スケジュール登録状況の表示.....	176
10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録.....	177
10.32 ログの出力.....	180
10.33 設定ファイルの一時読込.....	181
10.34 コマンドの遅延実行.....	182
10.35 本機に内蔵されたルート証明書の表示.....	183
11 MODBUS 機能.....	184
11.1 MODBUS スレーブマップ.....	185
11.2 MODBUS/TCP クライアント設定.....	187
11.3 MODBUS/TCP サーバ設定.....	188
11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ.....	189
11.5 MODBUS レスポンス遅延.....	190
11.6 MODBUS レスポンスタイマ.....	191
11.7 MODBUS クエリー発行.....	192
11.8 診断リクエスト.....	193
11.9 MODBUS レジスタマップ.....	194
12 データ記録.....	196
12.1 データ定義.....	197
12.2 データレコード生成.....	198
12.3 データ表示.....	199
13 付録.....	200
13.1 SMS コマンド仕様.....	201
13.2 イベントメールデフォルト件名.....	206
13.3 イベントメール本文.....	207
13.4 RAM ディスク.....	209
13.5 ファイル作成.....	210

13.6 アンテナログの出力形式	211
13.7 OTA 実施(AS-250/X)	213
13.8 OTA 実施(AS-250/KL)	214
13.9 省電力動作モード	216
13.10 テンプレートの利用	218
13.11 ダイナミック DNS	219
13.12 MODBUS 実装仕様	220
13.13 MODBUS レジスタ	221
13.14 バッテリー容量レベル	223
13.15 置換キーワード	224
13.16 モバイル時刻同期	226
13.17 SSL/TLS	227

1 はじめに

本書は FutureNet AS-250 シリーズのコマンドリファレンスです。コマンドは装置 Telnet サーバに接続して利用できます。また Web サーバに接続して管理画面内からも利用できます。

対象機器

コマンドは AS-250 シリーズ全機種で利用できます。一部機種固有のコマンドや制限事項があります。

本体機器名	説明
AS-250/S	ソフトバンク 3G 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-250/F-SC	NTT ドコモ 3G 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-250/F-K0	NTT ドコモ 3G 対応ユビキタスモジュール搭載モデルです。
AS-250/X	KDDI CDMA1X 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-250/KL	KDDI LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-250/NL	NTT ドコモ LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。
AS-250/SL	ソフトバンク LTE 対応通信モジュール搭載モデルです。

1.1 TELNET サーバへの接続

TELNET 接続

TELNET クライアントをインストールした PC から本装置の TELNET サーバへ接続してください。本装置の LAN 側 IP アドレスのデフォルト値は"192.168.254.254"です。TELNET サーバポート番号は 23 です。

文字コードについて

一部のコマンドは日本語の入力ができます。文字コードは UTF-8 です。TELNET クライアントソフトにおいて入出力文字コードの設定を行なってください。

初回ログイン

TELNET サーバへ接続するとパスワードプロンプトが表示されます。パスワードを入力してください。パスワードの初期値は"system"です。入力後、パスワード変更プロンプトが表示されます。プロンプトに従ってパスワードを変更して下さい。パスワード変更後、TELNET 接続が切断され、本装置は一旦再起動します。再度 TELNET サーバへ接続し、変更したパスワードでログインして下さい。

```

PC> telnet 192.168.254.254
Trying 192.168.254.254...
Connected to 192.168.254.254.
Escape character is '^]'.

Password:                                     ←パスワード待ち

Change Password for administrator.

New Password:                                 ←新パスワード入力待ち
Retype New Password:                          ←新パスワード入力待ち(再度)
Password has been changed. Restart System     ←パスワード変更完了。本機再起動。

Connection closed by foreign host.
PC>
    
```

ログイン

TELNET サーバへ接続するとパスワードプロンプトが表示されます。パスワードを入力してログインしてください。

```

PC> telnet 192.168.254.254
Trying 192.168.254.254...
Connected to 192.168.254.254.
Escape character is '^]'.

Password:                                     ←パスワード待ち

FutureNet AS-250/S Version 1.14.0

>                                             ←コマンド入力待ち
    
```

ログアウト

ログアウトして TELNET を切断する場合は "quit" コマンドを入力してください。

```
> quit
Connection closed by foreign host.
PC>
```

無通信切断タイマ

ログインしてコマンドを投入しないまま 5 分が経過すると、TELNET を強制切断します。タイマ時間は設定変更できます。

関連項目

TELNET 無通信切断は「4.2 TELNET 無通信切断タイマ」を参照してください。

1.2 コマンドの利用

コマンドの種類

コマンドには次の3種類あります。

種別	説明
設定コマンド	装置の設定を変更するコマンドです。変更を反映させるには設定の保存と装置の再起動が必要です。
制御コマンド	装置上で何らかの機能を実行させるコマンドです。
表示コマンド	装置上の各種情報を表示させるコマンドです。

設定コマンドの反映

設定コマンドを投入した直後は変更内容は装置動作に反映されていません。設定を反映させるには設定の保存と装置の再起動が必要です。"restart"コマンドは設定を保存してから装置の再起動を行います。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

1.3 値の長さの制限

制限

コマンド内の値の長さには制限があります。ここでは、複数の項目で使用されているものを記述します。

種別	最大長
ホスト名 (FQDN)	63 文字まで
URL	255 文字まで。また URL 内のホスト名 (FQDN) は 63 文字まで

2 ネットワーク設定

ネットワーク機能のコマンドについて説明します。

2.1 LAN 側 IP 設定

書式

main ip (IPADDRESS)	LAN 側 IP アドレス
main mask (NETMASK)	LAN 側ネットマスク

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
IPADDRESS	LAN 側 IP アドレス (X. X. X. X)	192.168.254.254
NETMASK	LAN 側ネットマスク (X. X. X. X)	255.255.255.0

備考

LAN 側の IP アドレスおよびネットマスクの設定を行います。

2.2 デフォルトゲートウェイ

書式

main gateway (GATEWAY)	デフォルトゲートウェイ設定
------------------------	---------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
GATEWAY	デフォルトゲートウェイ IP アドレス (X. X. X. X) "0.0.0.0"を指定すると設定を削除します。	未設定

備考

デフォルトゲートウェイの登録を行います。LAN 側のデフォルトゲートウェイを使用する場合に設定してください。モバイル側がデフォルトルートとなる場合は本コマンドでデフォルトゲートウェイをせずに domain コマンドで指定してください。

2.3 スタティックルートの設定

書式

route (ID) (DESTINATION) (GATEWAY) (METRIC)	スタティックルートの登録
route (ID) delete	スタティックルートの削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	スタティックルート登録番号 (0-29)	未登録
DESTINATION	宛先ネットワーク (X. X. X. X/X)	未登録
GATEWAY	ゲートウェイ IP アドレス (X. X. X. X)	未登録
METRIC	メトリック値 (1-15)	未登録

備考

スタティックルートの登録・削除を行います。

2.4 ルーティングテーブル表示

書式

show route	ルーティングテーブル表示
------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

ルーティングテーブルを表示します。

2.5 ARP テーブルの表示

書式

```
show arp
```

ARP テーブル表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

ARP テーブルを表示します。

表示例

```
> show arp
```

IP Address	Ethernet Address
192.168.254.1	: XX:XX:XX:XX:XX:XX
192.168.254.20	: XX:XX:XX:XX:XX:XX

2.6 イーサネットエラーカウンタ表示

書式

show etherr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

イーサネットフレーム送受信エラーカウンタを表示します。

2.7 ICMP カウンタ表示

書式

show icmpstat	カウンタ表示
---------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

ICMP メッセージ種別ごとの送受信カウンタを表示します。

2.8 プロトコルエラーカウンタ表示

書式

show neterr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

IP/TCP/UDP におけるエラーカウンタを表示します。

2.9 NAT

書式

nat (ID) (PRIVATEIP) (PROTO) (PORT) ipcp[(PORTFORWARD)]	NAT 設定行登録
nat (ID) delete	NAT 設定行削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	NAT 登録番号 (0-47)	未登録
PRIVATEIP	LAN 側 IP アドレス 単一指定 (X.X.X.X)：1つの IP を指定します。LAN 側機器の IP あるいは本装置の LAN 側 IP を指定します。 範囲指定 (X.X.X.X:X.X.X.X)：対象を始点と終点で範囲指定します。 "*"：LAN 側すべての IP を対象とします。	未登録
PROTO	プロトコル指定 "icmp", "tcp", "udp" のいずれかです。 上記3つのプロトコルすべてを対象とする場合、"*"を指定します。 PRIVATEIP が単一指定でない場合、PROTO 値は無視します。	未登録
PORT	LAN 側装置の TCP/UDP ポート番号を指定します。 単一ポート番号指定 (1-65535) ニーマニク単一指定 (ftp, ftpdata, telnet, smtp, www, pop3, sunrpc, nntp, ntp, login, domain, route) ポート範囲指定 ("始点:終点") "*"：すべてのポートを対象とします。 PRIVATEIP が単一指定でない場合、PORT 値は無視します。	未登録
PORTFORWARD	ポートフォワードの指定 WAN 側からの宛先ポート番号 (1-65535) を指定します。この番号が LAN 側のポート (PORT) で指定した値に変換されます。 ポートフォワード指定は、PRIVATEIP, PROTO, PORT を単一指定としてください。 省略するか 0 を指定するとポート変換を行いません。	0

NAT 管理テーブル

NAT 設定は、最大 48 個からなる設定行を持つテーブルです。設定行が1つも登録されていない場合、NAT 変換処理を行いません。変換対象の IP パケットは、NAT 管理テーブルの各設定行とのマッチングを行い、マッチした行の内容による変換処理を行います。各設定行の変換処理は、静的変換と NAPT に大別できます。

WAN へ送信するパケットのマッチング

WAN 側へ送信しようとするパケットについて、NAT 管理テーブルとのマッチングをおこないます。マッチングは IP パケットの送信元 IP アドレス、IP プロトコル番号、送信元ポート番号と、設定行の PRIVATEIP,PROTO,PORT を照合します。マッチングは登録番号の若い順から行い、どの行にもマッチしなかった場合はパケットを破棄します。

WAN から受信したパケットのマッチング

WAN 側から受信したパケットについては、まず既存 NAT セッションに属しているかを確認します。どのセッションにも属さない場合に NAT 管理テーブルの静的変換設定とのマッチングを行います。マッチングは登録番号の若い順から行います。マッチングは IP パケットの IP プロトコル番号、送信先ポート番号と、設定行の PROTO,PORT あるいは PORTFORWARD を照合します。NAT セッションや NAT 管理テーブルにマッチしなかった WAN 受信パケットは破棄します。

静的変換

PRIVATEIP を単一指定とした設定行は、静的変換の設定となります。WAN 側へ送信するパケットの送信元 IP を本装置の WAN 側 IP アドレスに変換します。WAN 側から受信したパケットの送信先 IP アドレスを PRIVATEIP に変換します。

ポートフォワード

静的変換において、ポート番号を設定値に変換することができます。PORTFORWARD に 0 以外の値を指定すると、WAN 側へ送信するパケットの送信元ポート番号を PORTFORWARD に変換します。WAN から受信した PORTFORWARD 宛のパケットを PORT に変換します。PORTFORWARD を指定する場合は、PROTO と PORT を単一指定としてください。

NAPT

PRIVATEIP を複数指定とした場合の設定行は NAPT の設定となります。LAN 側の複数のソースを本装置の 1 つの WAN 側 IP アドレスと複数のポート番号で変換します。変換ポート番号は本装置の空きポートを自動で割り当てます。ソースと割り当てポート番号の対応は NAT セッションで管理します。NAT セッションは、WAN へ送信する際の変換時に生成します。WAN から受信したパケットは生成済み NAT セッションにマッチする場合には変換し LAN へ転送します。

NAT セッション

NAT セッションは NAPT 変換情報を管理するために動的に生成されます。LAN 側からセッションを開始するとき生成され、セッション無通信検出時に削除されます。セッションとは、TCP コネクションや、UDP による要求/応答などの一連のパケットの流れです。現在生成されている NAT セッションを表示したり、NAT セッションの無通信タイマを設定することができます。

関連項目

NAT セッションタイマの変更は「2.10 NAT セッションタイマの変更」を参照してください。
NAT セッションの表示は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.10 NAT セッションタイムの変更

書式

natsession tcp inactivitytimer (TIMER)	NAT セッションタイム設定
--	----------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	TCP セッションの無通信タイム (60-18000 秒)	900

備考

NAT セッションは、一定時間使用されない場合に削除します。本コマンドでは TCP についてのセッションタイムを変更できます。UDP や ICMP については変更できません(60 秒固定)。

関連項目

現在の NAT セッション確認は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.11 NAT エラーカウンタ表示

書式

show naterr	カウンタ表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

NAT 処理におけるエラーカウンタを表示します。

2.12 NAT セッション表示

書式

show natsession	セッション一覧表示
-----------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

NAT セッションの一覧を表示します。各セッション毎の内容はアドレスペア、TTL(セッション残り時間)、送受信カウント数です。

2.13 NAT セッションテーブルの消去

書式

natsession clear	NAT セッションテーブル消去
------------------	-----------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

NAT セッションテーブル上の全セッションを強制削除します。

関連項目

現在の NAT セッション確認は「2.12 NAT セッション表示」を参照してください。

2.14 パケットフィルタ

書式

filter (ID) (ACT) (DIR) (SIP) (DIP) (PROTO) (SPORT) (DPORT) ppp1	フィルタ登録
filter (ID) delete	フィルタ削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	フィルタ登録番号 (0-31)	未登録
ACT	"pass": 一致すれば通す。 "reject": 一致すれば破棄する。	未登録
DIR	"in": 受信パケット "out": 送信パケット	未登録
SIP	送信元 IP アドレス "X.X.X.X/32": アドレス単一指定。マスクビット数は 32 として ください。 "X.X.X.X-X.X.X.X": アドレス範囲指定。 "*": すべての IP を対象とします。	未登録
DIP	送信先 IP アドレス。書式は送信元 IP アドレスと同様です。	未登録
PROTO	IP プロトコル番号 (1-255) "*"を指定するとすべてのプロトコルを対象とします。	未登録
SPORT	送信元ポート番号 (1-65535) "*"を指定するとすべてのポート番号を対象とします。 "(開始番号)-(終了番号)"で範囲指定ができます。(例: 1000- 2000)	未登録
DPORT	送信先ポート番号。書式は送信元ポート番号と同様です。	未登録

2.15 GRE 設定

書式

interface (DOMAINID) (CONF) [(PEERIP)]	GRE/NAT 選択
--	------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	
CONF	"nat": この接続先について NAT を利用する。 "gre": この接続先について GRE を利用する。	nat
PEERIP	GRE 対向 IP (X. X. X. X) GRE を選択した場合、GRE トンネリングの対向 IP アドレスを指定してください。	

2.16 イーサネットポート状態表示

書式

show ethport	ポート状態表示
--------------	---------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

イーサネット各ポートごとに、リンク状態、MDI 識別状態、動作モードを表示します。

表示例

```
> show ethport
Port Link      MDI/X Operation
  1 Up         MDI-X 100BaseT-Full
  2 Down       -      -
  3 Down       -      -
  4 Down       -      -
```

3 モバイル

モバイル通信に関するコマンドについて説明します。

3.1 接続先 APN の設定

書式

domain (DOMAINID) (APN) (USER) (PASS) (DEST) (WANIP)	接続先登録
domain (DOMAINID) pdptype (PDPTYPE)	PDP タイプの指定
domain (DOMAINID) pppauth (PPPAUTH)	PPP 認証プロトコルの指定
domain (DOMAINID) delete	接続先削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	未登録
APN	接続先 APN。32 文字まで (半角英数字およびピリオド、ハイフン)	未登録
USER	認証ユーザ ID。65 文字まで (半角英数字記号) 省略できる場合は "" を指定してください	未登録
PASS	認証パスワード。32 文字まで (半角英数字記号) 省略できる場合は "" を指定してください	未登録
DEST	宛先ネットワーク (X.X.X.X/X) この接続先をデフォルトとする場合は "0.0.0.0/0" と入力してください。	未登録
WANIP	WAN 側 IP アドレス (X.X.X.X) IPCP によるローカル IP 交渉値です。多くの場合 "0.0.0.0" を指定します。あらかじめ割り当てられている IP アドレスを IPCP で相手 PPP に伝える場合には、その IP アドレスを指定します。	未登録
PDPTYPE	"ip": PDP タイプを IP とする。 "ppp": PDP タイプを PPP とする。 PDP タイプの指定は、AS-250/KL では利用できません。	ip
PPPAUTH	"auto": PPP 認証を PAP または CHAP で行う。 "pap": PPP 認証を PAP で行う。 "chap": PPP 認証を CHAP で行う。	auto

備考

常時接続設定時は、接続先の登録を 1 つだけにしてください。

関連項目

AS-250/X での接続先設定は「3.2 接続先ドメインの設定」を参照してください。
常時接続設定は「3.6 オンデマンド接続／常時接続設定」を参照してください。

3.2 接続先ドメインの設定

書式

domain (DOMAINID) (DOMAIN) (USER) (PASS) (DEST) (METRIC)	接続先登録
domain (DOMAINID) delete	接続先削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/X

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	未登録
DOMAIN	接続先ドメイン。20 文字まで (半角英小文字、数字、ピリオドおよびハイフン)	未登録
USER	認証ユーザ ID。65 文字まで (半角英数字記号) "!auto" と指定すると、通信モジュールに登録されている電話番号をユーザ ID として利用します。	未登録
PASS	認証パスワード。32 文字まで (半角英数字記号) "!auto" と指定すると、通信モジュールに登録されている電話番号をパスワードとして利用します。	未登録
DEST	宛先ネットワーク (X.X.X.X/X) この接続先をデフォルトとする場合は "0.0.0.0/0" と入力してください。	未登録
METRIC	メトリック値 (1-15)	未登録

備考

常時接続設定時は、接続先の登録を 1 つだけにしてください。

関連項目

AS-250/X 以外での接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。
常時接続設定は「3.6 オンデマンド接続／常時接続設定」を参照してください。

3.3 PPP 接続

書式

connect[(DOMAINID)]	PPP 接続実行
----------------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4) 省略時は、番号 0 を指定したことになります。

備考

指定した接続先へダイヤルし PPP 接続を行います。本コマンドはオンデマンド接続設定時に利用できます。常時接続設定時には利用できません。

実行例

```
> connect
Dialing...
Dialing succeeded
Authentication succeeded
Connection established
>
```

関連項目

オンデマンド接続設定は「3.6 オンデマンド接続／常時接続設定」を参照してください。

3.4 PPP 切断

書式

disconnect	PPP 切断実行
------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

PPP を切断します。

3.5 PPP 状態の表示

書式

show pppstat	状態表示
show pppframe	フレームカウント表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

3.6 オンデマンド接続／常時接続設定

書式

alwaysonconnect activate (FLAG)	オンデマンド接続／常時接続
alwaysonconnect domainname (DOMAINNAME)	常時接続時の接続先

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": オンデマンド接続 "on": 常時接続	off
DOMAINNAME	接続先 APN 名またはドメイン名	未設定

備考

オンデマンド接続か、常時接続かを選択します。常時接続の場合、接続先 APN 名(ドメイン名)を必ず指定してください。

関連項目

AS-250/X 以外での接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。
AS-250/X での接続先設定は「3.2 接続先ドメインの設定」を参照してください。

3.7 WAN キープアライブ

書式

domain (DOMAINID) keepalive host (DEST) [(COUNT) [(INTERVAL)]]	キープアライブ設定
domain (DOMAINID) keepalive onfailure (ACTION)	キープアライブ失敗動作

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4)	未登録
DEST	PING 送信先ホストの IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN "0. 0. 0. 0" を指定した場合、この接続先についての WAN キープアライブの設定を削除します。	未登録
COUNT	失敗判定回数 (0-30) 連続して指定回数応答がない場合に失敗と判定します。 0 を指定すると失敗判定せずに ping を送信し続けます。	3
INTERVAL	送信間隔 (1-60 秒)	3
ACTION	"none": 何もしない "restart": 通信モジュールの電源を切ってから再起動する。 "notify": 通知する。別途メール通知や SMS 通知の設定が必要です。	none

備考

指定ホストへ PING を送信し続け、到達性異常を検出する機能です。

関連項目

AS-250/X 以外での接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。
AS-250/X での接続先設定は「3.2 接続先ドメインの設定」を参照してください。
FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

3.8 オンデマンド発信のトリガパケットの扱い

書式

main packetforwarding (FLAG)	機能フラグ
------------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 破棄する。 "on": 保持する。	off

備考

オンデマンド発信のトリガとなったパケットを破棄するか、保持するかを選択します。保持する場合、10パケットまで保持し PPP 接続確立後に送信します。

3.9 IP 着信を行う APN の指定

書式

ipdialin (DOMAINID) (FLAG)	接続先指定
----------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
DOMAINID	IP 着信を行う接続先登録番号 (0-4)	未登録
FLAG	"off": IP 着信を行わない。 "on": IP 着信を行う。	off

備考

AS-250/S,NL 専用のコマンドです。IP 着信で接続する APN を指定してください。他の機種における IP 着信は、網側からの着信時に APN を指示されるため事前の指定は不要です。

関連項目

接続先設定は「3.1 接続先 APN の設定」を参照してください。

3.10 PPP 無通信切断タイマ

書式

rsport 0 inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ
rsport 0 downpacketmonitor (DOWN)	下り方向の無通信監視
rsport 0 uppacketmonitor (UP)	上り方向の無通信監視

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0-99999999 秒) 0 を指定するとタイマは働きません。	30
DOWN	"off": 下り方向監視をしない。 "on": 下り方向監視をする。	off
UP	"off": 上り方向監視をしない。 "on": 上り方向監視をする。	on

備考

無通信状態が継続した場合、PPP を切断します。デフォルト設定では、WAN 向けの送信がない状態のみを監視します。WAN からの受信があっても無通信タイマは止まりません。

備考 2

無通信状態の判定は IP 層で行います。下位層通信 (PPP LCPEcho など) では無通信タイマは止まりません。

3.11 PPP 強制切断タイマ

書式

rsport 0 forcedtimeout (TIMER)	強制切断タイマ
--------------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	タイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマは働きません。	0

備考

PPP 接続確立から、指定時間経過したら強制切断します。

3.12 PPP 再発信待ちタイマ

書式

ppp_interval (TIMER)	タイマ値指定
----------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	タイマ (0-1000 秒)	10

備考

PPP 切断直後の発信抑制タイマです。切断してから指定した秒数の間、発信および着信しません。

3.13 PPP LCP-Echo によるキープアライブ

書式

rsport 0 lcpkeepalive (FLAG)	機能フラグ
rsport 0 lcpkeepaliveinterval (INTERVAL)	送信間隔
rsport 0 lcpkeepaliveretry (COUNT)	失敗判定回数

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off
INTERVAL	送信間隔 (1-60 秒)	10
COUNT	失敗判定回数 (1-10)	5

備考

LCP-Echo の応答がない状況が連続した場合に PPP を強制切断します。

備考 2

AS-250/NL では"FLAG"の指定に関わらず常に有効となります。

3.14 PPP VJ 圧縮

書式

vjcompression activate (FLAG)	機能フラグ
-------------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": VJ 圧縮しない。 "on": VJ 圧縮する。	on

備考

"on"の場合 IPCP で VJ 圧縮の交渉を行います。

3.15 モバイル通信量カウンタ

書式

wancounter resetdate (DATE)	カウンタ初期化日
wancounter thresh (KBYTES)	通信量しきい値

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DATE	日 (1-31) または 0 月に 1 回、カウンタを初期化する日を指定します。0 を指定するとカウンタを稼働させません。 初期化の実行は 0 時 0 分に行います。	0
KBYTES	しきい値 (0-1000000000)。キロバイト単位で指定します。 0 を指定するとしきい値超えの通知を行いません。	0

備考

カウント値と実際の通信量は異なる場合があります。使用量の目安として参考にとどめてください。

3.16 モバイル通信量カウンタの初期化

書式

wancounter reset	カウンタ初期化
------------------	---------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

現在保持しているカウンタを 0 にしてカウントを再開します。

3.17 モバイル通信量カウンタの表示

書式

show wancounter	カウンタ表示
-----------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show wancounter wancounter is not started.	カウンタ停止時の表示
> show wancounter rx: 764 kbytes tx: 114 kbytes counting period from 14/10/29 to 14/10/31	カウンタ稼働時の表示

3.18 SMS コマンド設定

書式

sms command (FLAG)	機能フラグ
sms sendlimit (LIMIT)	SMS 送信数上限
sms peer (ID) (PHONENUMBER) (RESULT)	SMS 相手番号の登録
sms peer (ID) doctl (DOCTL)	SMS による接点制御の許可
sms peer (ID) notify (EVENT) (EVENTFLAG)	SMS によるイベント通知
sms peer (ID) delete	SMS 相手登録の削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": SMS コマンド機能を使わない。 "on": SMS コマンド機能を使う。	off
LIMIT	1 日の SMS 送信数の上限を設定します。 0 を指定すると AS-250 側での送信制限をしません。(キャリア側の送信上限を変更する機能ではありません。)	0
ID	相手登録番号 (0-4)	未登録
PHONENUMBER	相手電話番号	未登録
RESULT	"off": コマンド制御結果を通知しない。 "on": コマンド制御結果を通知する。	未登録
DOCTL	"off": SMS コマンドによる接点制御を許可しない。 "on": SMS コマンドによる接点制御を許可する。	off
EVENT	"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。 "di0off": 接点入力 0 がオフに変化。 "di1on": 接点入力 1 がオンに変化。 "di1off": 接点入力 1 がオフに変化。 "di100on": 仮想接点入力 100 がオンに変化。 "di100off": 仮想接点入力 100 がオフに変化。 "di101on": 仮想接点入力 101 がオンに変化。 "di101off": 仮想接点入力 101 がオフに変化。 "di102on": 仮想接点入力 102 がオンに変化。 "di102off": 仮想接点入力 102 がオフに変化。 "di103on": 仮想接点入力 103 がオンに変化。 "di103off": 仮想接点入力 103 がオフに変化。 "di104on": 仮想接点入力 104 がオンに変化。 "di104off": 仮想接点入力 104 がオフに変化。	未登録

	<p>"di105on": 仮想接点入力 105 がオンに変化。 "di105off": 仮想接点入力 105 がオフに変化。 "di106on": 仮想接点入力 106 がオンに変化。 "di106off": 仮想接点入力 106 がオフに変化。 "di107on": 仮想接点入力 107 がオンに変化。 "di107off": 仮想接点入力 107 がオフに変化。 "wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。 "wanreport": モバイル通信量の月次報告 "keepalivefailure": WAN キープアライブ失敗</p>	
EVENTFLAG	<p>"off": 通知しない。 "on": 通知する。</p>	off

備考

登録相手から SMS でコマンドを受信することができます。

関連項目

SMS コマンド書式は「13.1 SMS コマンド仕様」を参照してください。

3.19 SMS の送信

書式

sms send (PHONENUMBER) (BODY)	SMS 送信
-------------------------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
PHONENUMBER	宛先電話番号
BODY	本文 半角英数字による入力は 160 文字までです。 全角文字を 1 文字でも含む場合は 70 文字までです。

備考

任意の相手に、任意のメッセージを送ることができます。

3.20 アンテナログの定期出力

書式

module logantenna (INTERVAL)	アンテナログ設定
------------------------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
INTERVAL	出力間隔 (0-1440 分) 0 を指定するとログを出力しません。	30

備考

アンテナレベルなどの情報を定期的にログ出力します。

関連項目

ログ出力内容については「13.6 アンテナログの出力形式」を参照してください。

3.21 発信前にアンテナレベルを確認する

書式

module chkant (FLAG)	アンテナチェック設定
----------------------	------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/F-KO

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": アンテナレベルの確認をしない。 "on": アンテナレベルが2または3の場合に発信する。0,1の場合はダイアルエラーとする。	on

備考

本コマンドは、AS-250/F-KO にのみ実装しています。

3.22 無線種別の選択

書式

module rat (RAT)	無線種別設定
------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
RAT	"3g": 3G 網 "lte": LTE 網 "auto": 自動選択	auto

備考

本コマンドは、AS-250/NL,AS-250/SL に実装しています。

3.23 アンテナレベルの表示

書式

show antenna	アンテナレベル表示
--------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例(AS-250/S, AS-250/F-SC)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
FrequencyBand	: WCDMA IMT 2000	周波数帯
RSCP	: -79 dBm	希望波受信電力
Ec/Io	: -7.5 dB	希望信号電力対干渉電力比

表示例(AS-250/F-KO)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
DRPW	: 35	受信電力指標

表示例(AS-250/X)

> show antenna		
antenna =	3	アンテナレベル

表示例(AS-250/KL)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態

表示例(AS-250/NL,AS-250/SL LTE 接続時)

> show antenna		
Antenna	: 3	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
RAT	: LTE	使用中の無線種別
FrequencyBand	: 19	使用中の周波数帯番号
Frequency	: 885 MHz	使用中の周波数(ダウンリンク)
RSSI	: -55 dBm	受信電力強度
RSRP	: -85 dBm	基準信号受信電力
RSRQ	: -9 dB	基準信号受信品質

SINR	: 5 dB	信号対干渉雑音比
------	--------	----------

表示例(AS-250/NL,AS-250/SL WCDMA 接続時)

> show antenna		
Antenna	: 2	アンテナレベル
Network	: registered	網登録状態
RAT	: WCDMA	使用中の無線種別
FrequencyBand	: 1	使用中の周波数帯番号
Frequency	: 2147 MHz	使用中の周波数(ダウンリンク)
RSSI	: -83 dBm	受信電力強度
RSRP	: -85 dBm	希望波受信電力
Ec/Io	: -11 dB	希望信号電力対干渉電力比

3.24 電話番号の表示

書式

show phone	電話番号表示
------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考 1

電話番号を表示します。SIM カードが挿入されていない場合など番号取得に失敗した場合は空行を表示します。

備考 2

AS-250/X および AS-250/KL において"01234567"と表示された場合は、未契約あるいは未開通状態の SIM あるいはモジュールであることを示します。

3.25 GPS 機能の有効化

書式

module gps (FLAG)	GPS 設定
-------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off

3.26 GPS 測位モード

書式

module gpsmode (MODE)	GPS 測位モード設定
module gpsdomain (DOMAINID)	アシスト測位の際の接続先

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/KL

値

項目	説明	デフォルト値
MODE	"standalone": スタンドアロンモード "set-based": SET-BASED モード	standalone
DOMAINID	SET-BASED モードの packets 通信接続先登録番号	0

備考

本コマンドは、AS-250/KL にのみ実装しています。SET-BASED モードは網から取得する衛星情報を補助的に利用して測位します。SET-BASED モードでは packets 通信が発生します。

3.27 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する

書式

module gpspowersaving (FLAG)	機能スイッチ
------------------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/KL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止しない。 "on": 省電力動作モード移行前に GPS 機能を停止する。	off

備考

省電力動作モードへ移行する前に GPS 機能を停止するかどうかを設定します。本コマンドは AS-250/KL のみ実装しています。他の GPS 搭載機種では省電力動作モード中は GPS 機能は停止しています。

3.28 測位情報表示

書式

show gps	位置表示
----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show gps	
+35. 702093, +139. 545902	(緯度), (経度)
> show gps	
,	測位できない場合の表示

3.29 ダイヤル連続失敗時に再起動する

書式

module dialfailrestart (FLAG) [(COUNT)]	ダイヤル失敗判定
module ipupfailrestart (FLAG) [(COUNT)]	IPCP 確立失敗判定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	on
COUNT	失敗判定回数 (1-30)	10

備考

ダイヤル失敗は、ダイヤルしてから一定時間内に"CONNECT"リザルトを受信できなかった場合です。IPCP 確立失敗は、ダイヤル成功後一定時間内に IPCP が確立しなかった場合です。失敗が連続して指定回数に達した場合、通信モジュールの電源を切ってから再起動します。

3.30 圏外状態が継続したら再起動する

書式

oosreset activate (FLAG)	機能フラグ
oosreset time (TIMER)	タイマ値設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 無効にする。 "on": 有効にする。	off
TIMER	タイマ値(1-10分)	3

備考

圏外状態が指定時間継続した場合に、通信モジュールの電源を切ってから再起動します。

3.31 通信モジュール情報の表示

書式

show module	通信モジュール情報表示
-------------	-------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show module	
ProductName : KYM11	通信モジュール製品名
Manufacturer : KYOCERA CORPORATION	メーカー名
ProductNumber : XXXXXXXXXXXXXXXX	製造番号
ProductVersion : XXXXXX	製品バージョン

備考

搭載する通信モジュールの固有情報を表示します。

3.32 SIM 情報の表示

書式

show module sim	SIM 情報表示
-----------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/KL

表示例

> show module sim		
SIM	: External	内蔵 SIM か外付け SIM か
ICCID	: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	SIM の ICCID
ROM	: Black	黒 ROM か灰ロムか

備考

現在使用中の SIM 情報を表示します。本コマンドは AS-250/KL にのみ実装しています。

3.33 OTA 実施

書式

ota sp	OTASP 実施
ota pa	OTAPA 実施

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/X AS-250/KL

備考

本コマンドは KDDI 通信モジュールにおける OTA の実施コマンドです。

AS-250/KL での OTAPA

AS-250/KL では端末側から OTAPA を実施できないため、"ota pa"を実行できません。

関連項目

AS-250/X における OTA 実施は「13.7 OTA 実施(AS-250/X)」を参照してください。
 AS-250/KL における OTA 実施は「13.8 OTA 実施(AS-250/KL)」を参照してください。
 SIM 情報の確認は「3.32 SIM 情報の表示」を参照してください。

3.34 通信モジュールのソフトウェア更新

書式

module update start	更新開始
---------------------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/F-KO AS-250/KL

備考

搭載する通信モジュールのソフトウェア更新を網経由で行います。実施には事前に申込みが必要です。

3.35 緊急地震速報の中継機能

書式

emg activate (FLAG)	受信フラグ
r signalholdtime (HOLDTIME)	信号保持時間

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/X AS-250/KL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 緊急地震速報を受信しない。 "on": 緊急地震速報を受信する。	off
HOLDTIME	信号保持時間 (5-60 秒)	10

中継機能

緊急地震速報の中継機能を利用するかどうかを設定します。中継機能は、通信モジュールから受信した速報電文を RS ポートへ送信する機能です。

信号表示について

緊急地震速報電文を RS ポートへ送信する際、中継機能実行中を示す信号表示を行います。信号は RI ピンまたは DTR ピンで表示します。緊急地震速報を受信すると、信号を ON にします。その 1 秒後に RS ポートへ電文を送出します。その後"HOLDTIME"で指定された時間が経過すると信号を OFF にします。

DTR ピンの選択

信号表示に DTR ピンを選択する場合は"rsport 1 dtrctrl earthquake"コマンドを設定してください。

関連項目

"rsport"コマンドは「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

3.36 パケットデータ通信速度設定

書式

packetspeed (SPEED)	通信速度設定
---------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/X

値

項目	説明	デフォルト値
SPEED	"low": 低速(上り 14.4kbps, 下り 14.4kbps) "high": 高速(上り 64kbps, 下り 144kbps)	high

備考

本コマンドは AS-250/X 専用です。サービス契約内容に応じて設定してください。

4 ネットワークサービス設定

本装置で稼働するネットワークサービスのコマンドについて説明します。

4.1 TELNET サーバポート番号

書式

telnet-server port (PORT)	ポート番号指定
---------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
PORT	Telnet サーバポート番号 (1-65535)	23

備考

他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

4.2 TELNET 無通信切断タイマ

書式

flag menutimeout (TIMER)	タイマ値設定
--------------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0, 60-99999999 秒) 0 を指定すると、無通信切断を行わない。	300

4.3 TELNET ログアウト

書式

quit	ログアウト
------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

ログアウトして、TELNET を切断します。

4.4 HTTP サーバ設定

書式

http-server port (HTTP_PORT)	HTTP ポート番号指定
http-server httpsport (HTTPS_PORT)	HTTPS ポート番号指定
http-server https (HTTPS_FLAG)	HTTPS 有効/無効

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
HTTP_PORT	HTTP サーバポート番号 (1-65535)	80
HTTPS_PORT	HTTPS サーバポート番号 (1-65535)	443
HTTPS_FLAG	"enable": HTTPS サーバ有効 (HTTP サーバ無効) "disable": HTTPS サーバ無効 (HTTP サーバ有効)	disable

備考

指定したポート番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 2

HTTP サーバと HTTPS サーバは排他起動です。

4.5 TCP ダウンローダサーバポート番号

書式

tcpdwl-server port (PORT)	ポート番号指定
---------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
PORT	TCP ダウンローダサーバポート番号 (1-65535)	2222

備考

他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

4.6 DHCP サーバ

書式

dhcp activate (FLAG)	DHCP サーバ機能フラグ
dhcp startip (STARTIP)	リース開始アドレス
dhcp noofip (NOOFIP)	リースするアドレス個数
dhcp mask (MASK)	配布ネットマスク
dhcp gateway (GATEWAY)	配布ゲートウェイ
dhcp pridns (DNSSERV)	配布 DNS サーバ IP1
dhcp secdns (DNSSERV)	配布 DNS サーバ IP2
dhcp leasetime (LEASETIME)	リース時間
dhcp wins (WINS)	配布 WINS サーバ IP

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": DHCP サーバを起動しない。 "on": DHCP サーバを起動する。	off
STARTIP	リースするアドレス範囲の開始アドレス (X. X. X. X)	未設定
NOOFIP	リースするアドレス個数 (0-128)	未設定
MASK	配布するネットマスク (X. X. X. X)	未設定
GATEWAY	配布するデフォルトゲートウェイ (X. X. X. X)	未設定
DNSSERV	配布する DNS サーバアドレス (X. X. X. X)	未設定
LEASETIME	リース時間 (0-9999 時間) 0 は無制限を示します。	24 時間
WINS	配布する WINS サーバアドレス (X. X. X. X)	未設定

4.7 DHCP 割り当て状況の表示

書式

show dhcp	DHCP 情報表示
-----------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

```
> show dhcp
```

No.	MAC address	Type	IP address	Expire
1	XX:XX:XX:XX:XX:XX	dynamic	192.168.254.20	2016/01/15 13:32:41

備考

"No."は"dhcp client"コマンドで指定するクライアント登録番号(ID)です。

関連項目

"dhcp client"は「4.8 DHCP リース編集」を参照してください。

4.8 DHCP リース編集

書式

dhcp client (ID) (MAC) (IPADDRESS)	固定割り当て
dhcp client (ID) delete	割り当て削除

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
ID	クライアント登録番号 (0-127)
MAC	固定割り当てするクライアントの MAC アドレス 16 進数 12 桁 (例: 001a2b3c4d5e) またはコロン区切り 16 進数 (例: 00:1a:2b:3c:4d:5e)
IPADDRESS	固定割り当てする IP アドレス (X.X.X.X) 動的割り当て範囲 ("dhcp startip" および "dhcp noofip" で指定する範囲) のアドレスは固定割り当てできません。

備考

リース状況は "show dhcp" で確認できます。

関連項目

"show dhcp" は 「4.7 DHCP 割り当て状況の表示」 を参照してください。

4.9 DNS リレー／キャッシュサーバ

書式

dnsrelay activate (FLAG)	サーバ機能フラグ
dnsrelay serverpolicy (POLICY)	DNS サーバ選択
dnsrelay primarydns (DNSSERV)	プライマリサーバ指定
dnsrelay secondarydns (DNSSERV)	セカンダリサーバ指定
dnsrelay serverdomain (DOMAIN)	サーバに到達可能な接続先
dnsrelay clear serverdomain	接続先指定の取り消し

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	<p>"off": DNS リレー／キャッシュサーバを無効にします。</p> <p>"on": DNS リレー／キャッシュサーバを有効にします。</p>	off
POLICY	<p>"ipcp": PPP IPCP で取得した DNS サーバを利用します。</p> <p>"config": コマンドで指定したサーバを利用します。</p>	ipcp
DNSSERV	<p>DNS サーバアドレス (X. X. X. X)</p> <p>POLICY で "config" を選択した場合に利用する DNS サーバを指定してください。</p>	未登録
DOMAIN	<p>APN またはドメイン名</p> <p>DNS サーバに到達可能な接続先を指定します。指定しない場合は、接続先テーブルに登録されているエントリのうち、宛先ネットワークが "0.0.0.0/0" のものを選択します。</p>	未登録

4.10 DNS ホストファイル設定

書式

hostfile (ID) (HOSTNAME) (IPADDRESS)	ホスト登録
hostfile (ID) delete	ホスト削除
dnscache hostttl (TTL)	ホストファイル TTL 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	ホスト登録番号 (0-9)	未登録
HOSTNAME	ホスト名	未登録
IPADDRESS	IP アドレス (X.X.X.X)	未登録
TTL	TTL 値 (120-2419200 秒) ホストファイル登録エントリに対する TTL 値	3600

備考

DNS リレー/キャッシュサーバに静的エントリを登録できます。

4.11 DNS ホストファイル表示

書式

show hostfile	ホストファイル表示
---------------	-----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

登録されているホストファイル情報を表示します。

関連項目

ホストファイル登録は「4.10 DNS ホストファイル設定」を参照してください。

4.12 DNS キャッシュ TTL 調整

書式

<code>dnscache ttlmanualmode (TTLMODE)</code>	TTL 値調整を行うかどうか
<code>dnscache ttlsetting (TTLMIN) (TTLMAX)</code>	TTL 値調整の下限と上限

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TTLMODE	"off": TTL 値調整を行いません。 "on": TTL 値調整を行います。	off
TTLMIN	調整下限値 (120-2419200 秒) 応答内の TTL が下限値より小さい場合、下限値で置き換えます。	900
TTLMAX	調整上限値 (120-2419200 秒) 応答内の TTL が上限値より大きい場合、上限値で置き換えます。	3600

備考

リレーする DNS 応答の TTL 値を書き換える機能です。

4.13 DNS キャッシュテーブル表示

書式

show dnscache	DNS キャッシュテーブル表示
---------------	-----------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

```
> show dnscache
```

Domain Name	TTL	QTYPE	QCLASS
example.domain	51899	1	1
sample.info	3290	1	1

4.14 DNS キャッシュ消去

書式

dnscache clear	DNS キャッシュ消去
----------------	-------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

DNS キャッシュテーブル登録内容を消去します。

4.15 DDNS クライアント

書式

ddns activate (FLAG)	機能フラグ
ddns userid (USER)	ユーザ ID 設定
ddns password (PASS)	パスワード設定
ddns domain (DOMAINID)	対象とする接続先の指定
ddns periodic (PERIODIC)	周期送信設定
ddns firmupdate (FIRMUPDATE)	自動ファームウェア更新設定
ddns regip (REGIP)	登録 IP 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": DDNS クライアントを起動しない。 "on": DDNS クライアントを起動する。	off
USER	DDNS サービスのユーザ ID (64 文字まで) "" を指定すると設定を削除します。	未設定
PASS	DDNS サービスのパスワード (64 文字まで) "" を指定すると設定を削除します。	未設定
DOMAINID	接続先登録番号 (0-4) DDNS サービスの対象とする接続先を指定してください。	0
PERIODIC	"off": PPP 接続後 1 回のみ送信する。 "on": PPP 接続中は周期的に送信する。	off
FIRMUPDATE	"off": DDNS サーバからファームウェア更新通知を受けてもファームウェア更新を行わない。 "on": DDNS サーバからファームウェア更新通知を受けたらファームウェア更新を行う。	on
REGIP	"srcip": DDNS サーバが受信した本機からの IP パケットのソースアドレスを登録します。 "ipcp": PPP IPCP ローカルアドレスを登録します。DDNS サーバに対して送信するリクエスト内に登録 IP を明示します。	srcip

備考

WarpLinkDDNS サービス利用設定を行います。サービスの利用には申込みが必要です。

関連項目

ダイナミック DNS は「13.11 ダイナミック DNS」を参照してください。

4.16 HTTP POST クライアント

書式

wpost (URL) (AUTH) template: (TEMPLATEID) [, (CONTENTTYPE)] [(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP POST 送信(テンプレート)
wpost (URL) (AUTH) (DISK): (FILENAME) [, (CONTENTTYPE)] [(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP POST 送信(ファイル)

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
URL	POST 先 URL 対応しているスキームは、“http://”、“https://”、“https-://” (サーバ証明書検証スキップ) です。
AUTH	認証指定文字列 “none”: 認証なし “basic:(ユーザ名):(パスワード)”: BASIC 認証ヘッダを付加します。
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みテンプレートの置換内容を本文として送信します。
DISK	“ramdisk”: RAM ディスク “extmem”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem1”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem2”: SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名 ファイル内容を本文として送信します。
CONTENTTYPE	送信する Content-Type の値 省略時は以下ようになります。 バイナリファイル: application/octet-stream テキストファイル: text/plain
COUNT	再送回数 (0-999) 省略時または 0 を指定した場合は再送をしません。
INTERVAL	再送間隔 (1-60 秒) 省略時は 10 秒となります。

備考

外部 HTTP サーバへ HTTP POST リクエストを送信します。URL のホスト名部分に、本機のホスト名や IP アドレスを指定しないで下さい。リクエスト本文には、テンプレートまたはファイルを指定できます。

レスポンス待ち

レスポンス待ち時間は 30 秒です。

再送について

外部 HTTP サーバへの接続ができない場合、接続できてもレスポンスが返らない場合、レスポンスのステータスエラー時は、リクエストを再送します。

省電力動作移行タイマ

レスポンス待ちおよび再送中の時は、省電力動作へ移行しません。

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

URL の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

サーバ証明書検証スキップは「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

4.17 HTTP PUT クライアント

書式

wput (URL) (AUTH) template: (TEMPLATEID) [, (CONTENTTYPE)] [(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP PUT 送信(テンプレート)
wput (URL) (AUTH) (DISK) : (FILENAME) [, (CONTENTTYPE)] [(COUNT) [(INTERVAL)]]	HTTP PUT 送信(ファイル)

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
URL	PUT 先 URL 対応しているスキームは、“http://”、“https://”、“https-://” (サーバ証明書検証スキップ) です。
AUTH	認証指定文字列 “none”: 認証なし “basic:(ユーザ名):(パスワード)”: BASIC 認証ヘッダを付加します。
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みテンプレートの置換内容を本文として送信します。
DISK	“ramdisk”: RAM ディスク “extmem”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem1”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem2”: SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名 ファイル内容を本文として送信します。
CONTENTTYPE	送信する Content-Type の値 省略時は以下ようになります。 バイナリファイル: application/octet-stream テキストファイル: text/plain
COUNT	再送回数 (0-999) 省略時または 0 を指定した場合は再送をしません。
INTERVAL	再送間隔 (1-60 秒) 省略時は 10 秒となります。

備考

外部 HTTP サーバへ HTTP PUT リクエストを送信します。URL のホスト名部分に、本機のホスト名や IP アドレスを指定しないで下さい。リクエスト本文には、テンプレートまたはファイルを指定できます。

レスポンス待ち

レスポンス待ち時間は 30 秒です。

再送について

外部 HTTP サーバへの接続ができない場合、接続できてもレスポンスが返らない場合、レスポンスのステータスエラー時は、リクエストを再送します。

省電力動作移行タイマ

レスポンス待ちおよび再送中の時は、省電力動作へ移行しません。

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

URL の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

サーバ証明書検証スキップは「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

4.19 M2M クラウド設定

書式

m2mcloud termid[(TERMID)]	端末 ID の登録
m2mcloud userid[(USERID)]	ユーザ ID の登録
m2mcloud password[(PASSWORD)]	パスワードの登録
m2mcloud connecttrigger (TRIGGER)	接続トリガ設定
m2mcloud inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TERMID	端末 ID 文字列 (1-32 文字) 省略すると登録削除します。	未登録
USERID	ユーザ ID 文字列 (1-64 文字) ユーザ ID を登録すると、リクエストに BASIC 認証ヘッダを付加します。 省略すると登録削除します。	未登録
PASSWORD	パスワード文字列 (1-64 文字) BASIC 認証パスワードです。ユーザ ID とともに設定してください。 省略すると登録削除します。	未登録
TRIGGER	"off": 自動接続しない。 "always": 常時接続する。 "datain": データレコード生成時に接続する。	off
TIMER	無通信切断タイマ (0-600 秒) 0 を設定すると無通信切断を行いません。	0

備考

WarpLink M2M クラウドサービスへ接続する設定を行います。本装置は M2M クラウドサービスにおける「データリンク端末」となります。

通信方法

本装置は、M2M クラウドとは Websocket で通信を行います。サービス側のデータリンク設定画面において通信方法「WEBSOCKET で端末とサーバ間を通信する」を選択してください。

端末 ID

M2M クラウドサービスを利用する場合はサービス側から発行される端末 ID が必要です。本装置に対応する端末 ID を上記コマンドで登録してください。端末 ID はサービス側データリンク設定画面に表示されます。

認証

サービス側データリンク設定画面において認証方法「Basic 認証」を選択した場合は、そのユーザ ID とパスワードを上記コマンドで登録してください。

データ形式

Websocket 上で送受信するデータ形式は「標準 JSON フォーマット」です。サービス側データリンク設定画面においてデータ解析方法「標準 JSON フォーマット」を選択してください。

計測データ

M2M クラウドでは複数フィールドからなるデータレコードを時系列で蓄積します。本装置においては、"data field"コマンドでフィールドの定義を行います。コマンド"data record"を実行するとデータレコードを生成します。Websocket 接続中は、生成したレコードは直ちに M2M クラウドへ送信します。Websocket 切断中は、生成レコードは本機メモリに蓄積し、次回接続時に送信します。

接続トリガ

Websocket の接続トリガを選択できます。コマンド"m2mcloud connect"によって接続する場合は接続トリガを"off"にしてください。サーバ契機のリクエストを待ち受ける場合は"always"を選択してください。

関連項目

コマンドによる Websocket 接続は「4.20 M2M クラウドへ接続」を参照してください。

"data field"コマンドは「12.1 データ定義」を参照してください。

"data record"コマンドは「12.2 データレコード生成」を参照してください。

4.20 M2M クラウドへ接続

書式

m2mcloud connect	m2mcloud 接続
m2mcloud disconnect	m2mcloud 切断

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

WarpLink M2M クラウドサービスとの間の接続/切断を行います。

接続

コマンド"m2mcloud connect"により明示的に接続を指示します。本コマンド以外の接続方法として、コマンド"m2mcloud connecttrigger"による自動接続を選択することもできます。

切断

コマンド"m2mcloud disconnect"により明示的に切断を指示します。本コマンド以外の切断方法として、コマンド"m2mcloud inactivitytimer"による自動切断を選択することもできます。

関連項目

自動接続／自動切断は「4.19 M2M クラウド設定」を参照してください。

5 E メールによるイベント通知

本装置で発生する各種イベントを E メールで通知するための設定マンドについて説明します。

5.1 外部 SMTP サーバの登録

書式

mail server (SERVERID) smtp (SMTPSERVER) [(SMTPPORT)]	SMTP サーバ追加
mail server (SERVERID) auth (AUTHTYPE) [(USER) (PASS)]	SMTP サーバ認証設定
mail server (SERVERID) pop [(POPSERVER) [(POPPORT)]]	POP サーバ設定
mail server (SERVERID) fromaddress [(MAILADDRESS)]	送信元メールアドレス設定
mail server (SERVERID) ssl (SSLFLAG)	SSL 利用設定
mail server (SERVERID) verifycert (VERIFYFLAG)	SSL サーバ証明書検証設定
mail server (SERVERID) delete	SMTP サーバ設定削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
SERVERID	SMTP サーバ登録番号 (0-4)	未登録
SMTPSERVER	SMTP サーバ IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN	未登録
SMTPPORT	SMTP サーバポート番号 (1-65535)	25
AUTHTYPE	"none": 認証なし "popbeforesmtp": POP before SMTP "smtp": SMTP 認証	none
USER	認証ユーザ ID (63 文字まで)	未設定
PASS	認証パスワード (63 文字まで)	未設定
POPSERVER	POP サーバ IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN AUTHTYPE に "popbeforesmtp" を指定した場合に設定してください。	未設定
POPPORT	POP サーバポート番号 (1-65535) AUTHTYPE に "popbeforesmtp" を指定した場合に設定してください。	110
MAILADDRESS	送信元メールアドレス (127 文字まで)	未設定
SSLFLAG	"disable": SSL を利用しない。 "enable": SSL を利用する。	disable
VERIFYFLAG	SSL を利用する際に、サーバ証明書を検証するかを設定します。 "on": 検証する。 "off": 検証しない。	on

備考

E メール送信時に利用する外部 SMTP サーバを登録します。

関連項目

FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。
SSL サーバ証明書の検証は「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

5.2 E メール宛先登録

書式

mail peer (PEERID) (MAILADDRESS)	宛先メールアドレス登録
mail peer (PEERID) notify (EVENT) (FLAG) [server (SERVERID)]	宛先とイベントの紐付け
mail peer (PEERID) delete	宛先削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
PEERID	宛先登録番号 (0-4)	未登録
MAILADDRESS	宛先メールアドレス (480 文字まで) 複数のアドレスをカンマで区切って 6 個まで入力できます。	未登録
EVENT	"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。 "di0off": 接点入力 0 がオフに変化。 "di1on": 接点入力 1 がオンに変化。 "di1off": 接点入力 1 がオフに変化。 "di100on": 仮想接点入力 100 がオンに変化。 "di100off": 仮想接点入力 100 がオフに変化。 "di101on": 仮想接点入力 101 がオンに変化。 "di101off": 仮想接点入力 101 がオフに変化。 "di102on": 仮想接点入力 102 がオンに変化。 "di102off": 仮想接点入力 102 がオフに変化。 "di103on": 仮想接点入力 103 がオンに変化。 "di103off": 仮想接点入力 103 がオフに変化。 "di104on": 仮想接点入力 104 がオンに変化。 "di104off": 仮想接点入力 104 がオフに変化。 "di105on": 仮想接点入力 105 がオンに変化。 "di105off": 仮想接点入力 105 がオフに変化。 "di106on": 仮想接点入力 106 がオンに変化。 "di106off": 仮想接点入力 106 がオフに変化。 "di107on": 仮想接点入力 107 がオンに変化。 "di107off": 仮想接点入力 107 がオフに変化。 "wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。 "wanreport": モバイル通信量の月次報告 (カウンタ初期化日に通知)。 "showconfig": 装置設定データの送信要求 "showlog": ログ送信要求 "showall": 技術サポート情報の送信要求	未登録

	"keepalivefailure": WAN キープアライブに失敗 "pppconnected": PPP 接続成功	
FLAG	"off": 通知しない。 "on": 通知する。	off
SERVERID	SMTP サーバ登録番号 (0-4) イベント通知に利用する SMTP サーバを指定してください。	未指定

備考

"SERVERID"によって SMTP サーバを指定しない場合 SMTP サーバ 0 番に接続します。送信失敗時は次の番号のサーバを試行します。

関連項目

SMTP サーバ登録は「5.1 外部 SMTP サーバの登録」を参照してください。

5.3 イベント設定

書式

mail event (EVENT) subject[(SUBJECT)]	件名の設定
mail event (EVENT) message[(MESSAGE)]	本文に付加する文字列の設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
EVENT	<p>"di0on": 接点入力 0 がオンに変化。</p> <p>"di0off": 接点入力 0 がオフに変化。</p> <p>"di1on": 接点入力 1 がオンに変化。</p> <p>"di1off": 接点入力 1 がオフに変化。</p> <p>"wanthresh": モバイル通信量のしきい値を超えた。</p> <p>"wanreport": モバイル通信量の月次報告（カウンタ初期化日に通知）。</p> <p>"showconfig": 装置設定データの送信要求</p> <p>"showlog": ログ送信要求</p> <p>"showall": 技術サポート情報の送信要求</p> <p>"keepalivefailure": WAN キープアライブに失敗</p> <p>"pppconnected": PPP 接続成功</p>	未登録
SUBJECT	<p>件名 (1-127 バイト)</p> <p>UTF-8 で日本語を入力できます。すべて全角文字の場合 42 文字までとなります。</p> <p>省略するとデフォルト件名を使用します。</p> <p>"template: (テンプレート登録番号)" を指定すると、登録済みテンプレートの置換内容を件名とします。</p>	デフォルト件名
MESSAGE	<p>本文付加文字列 (1-255 バイト)</p> <p>UTF-8 で日本語を入力できます。すべて全角文字の場合 85 文字までとなります。</p> <p>"template: (テンプレート登録番号)" を指定すると、登録済みテンプレートの置換内容を本文とします。</p>	付加文字列なし

関連項目

テンプレートは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
 デフォルト件名は「13.2 イベントメールデフォルト件名」を参照してください。
 メール本文は「13.3 イベントメール本文」を参照してください。

5.4 情報送信イベントの発行

書式

mail show (KIND)	情報送信イベント発行
------------------	------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
KIND	"config": 装置設定データの送信要求 "log": ログ送信要求 "all": 技術サポート情報の送信要求

備考

内部情報送信イベント("showconfig", "showlog", "showall")を発行します。"mail peer"コマンドで設定済みの宛先へ送信します。

関連項目

宛先登録は「5.2 E メール宛先登録」を参照してください。
 デフォルト件名は「13.2 イベントメールデフォルト件名」を参照してください。
 メール本文は「13.3 イベントメール本文」を参照してください。

6 シリアルポート

本装置に装備するシリアルポートの利用に関するコマンドを説明します。

6.1 動作モード設定

書式

rsport 1 mode (MODE)	モード設定
----------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
MODE	"conv": シリアル/IP 変換モード "modbus-ascii": MODBUS/ASCII モード "modbus-rtu": MODBUS/RTU モード	conv

備考

シリアルポートの利用方法を選択します。

関連項目

シリアル/IP 変換モードは「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

MODBUS/ASCII,MODBUS/RTU モードは「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。

6.2 シリアルポート通信パラメータ設定

書式

rsport 1 baudrate (BAUDRATE)	ボーレート
rsport 1 databits (DATABITS)	データ長
rsport 1 flowctrl (FLOWCTRL)	フロー制御
rsport 1 parity (PARITY)	パリティ
rsport 1 duplex (DUPLEX)	RS-485 全二重/半二重設定
rsport 1 terminator (TERMINATOR)	RS-485 終端抵抗設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
BAUDRATE	ボーレート (1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200, 230400, 460800bps)	230400
DATABITS	"7": 7 ビット。7 ビットの場合、パリティ無しは選択できません。odd か even を選択してください。 "8": 8 ビット	8
FLOCTRL	"none": フロー制御なし "rtscts": RTS/CTS フロー制御	none
PARITY	"none": パリティなし "odd": 奇数パリティ "even": 偶数パリティ	none
DUPLEX	"full": 全二重 "half": 半二重	full
TERMINATOR	"off": 終端抵抗なし "on": 終端抵抗あり	off

備考

RS ポートの通信条件を設定します。"duplex", "terminator"については、RS-485 搭載機でのみ設定できます。

6.3 シリアル/IP 変換機能

書式

rsport 1 convmode (CONVMODE)	変換機能モード
rsport 1 rxidletime (RXIDLETIME)	シリアル受信データパケット化タイム
rsport 1 dtrctrl (DTRCTRL)	DTR 信号制御設定
rsport 1 rtsctrl (RTSCTRL)	RTS 信号制御設定
rsport 1 tcpkeepalive (ONOFF)	TCP キープアライブ有効/無効
rsport 1 tcpkeepaliveinterval (INTERVAL)	TCP キープアライブ間隔
rsport 1 tcpkeepaliveprobes (COUNT)	TCP キープアライブ回数
rsport 1 tcpkeepalivetime (TIME)	TCP キープアライブ開始時間
rsport 1 verifycert (VERIFYFLAG)	SSL サーバ証明書検証設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
CONVMODE	"tcptransparent": TCP トランスペアレントモード "udptransparent": UDP トランスペアレントモード "redirect": COM リダイレクトサーバ "http": HTTP モード "ssltransparent": SSL トランスペアレントモード	tcptransparent
RXIDLETIME	シリアル受信データをパケット化する受信アイドル時間(0-999 ミリ秒) 0 を設定すると随時パケット化します。	3
DTRCTRL	DTR を制御するタイミングを設定します。 "powerup": 起動完了後にオンにする。 "session": TCP 接続したときにオン、切断でオフにする。 "earthquake": 緊急地震速報受信時にオン、電文送信後にオフにする。(AS-250/X, AS-250/KL のみ)	powerup
RTSCTRL	RTS を制御するタイミングを設定します。 "powerup": 起動完了後にオンにする。以後フロー制御に従う。 "session": TCP 接続したときにオンし、以後フロー制御に従い、TCP 切断でオフにする。ただし、クライアント接続、かつ接続トリガがデータ受信の場合は"powerup"と同様とする。	session
ONOFF	"off": TCP キープアライブを行わない。 "on": TCP キープアライブを行う。	on
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔(1-65535 秒)	10

COUNT	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回) ポーリング応答が指定回数連続して得られない場合、TCP を切断します。	6
TIME	TCP キープアライブ開始時間 (1-65535 秒) TCP 無通信状態が指定時間経過したら TCP キープアライブポーリングを開始します。	300
VERIFYFLAG	SSL トランスペアレントモードの際に、サーバ証明書を検証するかを設定します。 "on": 検証する。 "off": 検証しない。	on

備考

シリアル/IP 変換機能についての設定を行います。

TCP キープアライブ

確立中の TCP コネクションの無通信状態時に、その接続が維持されているかを確認します。TCP キープアライブ機能は、TCP トランスペアレントモード、SSL トランスペアレントモードおよび、COM リダイレクトサーバモードで実行します。

関連項目

TCP トランスペアレントモードは「6.4 TCP トランスペアレントモード」を参照してください。

UDP トランスペアレントモードは「6.5 UDP トランスペアレントモード」を参照してください。

COM リダイレクタモードは「6.6 COM リダイレクタモード」を参照してください。

HTTP モードは「6.9 HTTP 変換モード」を参照してください。

SSL トランスペアレントモードは「6.10 SSL トランスペアレントモード」を参照してください。

6.4 TCP トランスペアレントモード

書式

rsport 1 transparent (TRANSPARENT)	トランスペアレント接続モード
rsport 1 scpcport (SCPCPORT)	サーバポート
rsport 1 connectaddress (CONNECTADDRESS)	クライアント接続先
rsport 1 connectaddress2 (CONNECTADDRESS2)	クライアント接続先 2
rsport 1 connectport (CONNECTPORT)	クライアント接続先ポート
rsport 1 connectport2 (CONNECTPORT2)	クライアント接続先 2 ポート
rsport 1 connecttrigger (CONNECTTRIGGER)	クライアント接続トリガ
rsport 1 disconnecttrigger (DISCONNECTTRIGGER)	クライアント切断トリガ
rsport 1 disconnectdelimiter (DELIMITER)	クライアント切断トリガのデリミ タコード
rsport 1 senddelimiter (SENDELIMITER)	デリミタコード送信設定
rsport 1 connecttimeout (CONNECTTIMEOUT)	クライアント接続タイム
rsport 1 inactivitytimer (INACTIVITYTIMER)	TCP 無通信切断タイム
rsport 1 forcedtimeout (FORCEDTIMEOUT)	TCP 強制切断タイム
rsport closetimeout (GLOSETIMEOUT)	TCP 切断時の応答待ちタイム
rsport 1 bufferclear (BUFFERCLEAR)	TCP 未接続/接続失敗時のシリアル データクリア

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TRANSPARENT	"server": トランスペアレントサーバ "client": トランスペアレントクライアント "servcli": サーバ&クライアント	server
SCPCPORT	TCP トランスペアレントサーバのポート番号 (2300-65535)	33337
CONNECTADDRESS	IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN TCP トランスペアレントクライアントのプライマリ接続先を設定します。	未登録
CONNECTADDRESS2	IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN TCP トランスペアレントクライアントのセカンダリ接続先を設定します。	未登録
CONNECTPORT	TCP トランスペアレントクライアントプライマリ接続先のポート番号 (1-65535)	未登録
CONNECTPORT2	TCP トランスペアレントクライアントセカンダリ接続先のポート番号 (1-65535)	未登録

CONNECTTRIGGER	トランスペアレントクライアントの TCP 接続トリガを選択します。 "datain": シリアル受信時に接続する。 "dsr": DSR がオンになったとき接続する。 "always": 常時接続する。 "oneshot": 起動時に接続する。切断された後は再起動するまで再接続しない。	datain
DISCONNECTTRIGGER	トランスペアレントクライアントの TCP 切断トリガを選択します。 "none": 切断トリガは使用しない。 "delimiter": デリミタコードを受信した時に切断する。 "dsr": DSR がオフになったとき切断する。	none
DELIMITER	デリミタコード 16 進数値 (00-ff) デリミタコードを指定します。TCP 切断トリガが "delimiter" の場合のみ使用します。	0d
SENDELIMITER	"no": デリミタコードを送信しない。 "yes": デリミタコードをデータに含めて送信する。	no
CONNECTTIMEOUT	トランスペアレントクライアント TCP 接続の際のコネクションリトライ時間 (0-60 秒) 0 の場合は、永久にリトライします。	10
INACTIVITYTIMER	TCP 無通信切断タイマ (0-99999999 秒) 0 の場合は、無通信切断をしません。	0
FORCEDTIMER	TCP 強制切断タイマ (0-99999999 秒) 0 の場合は、強制切断をしません。	0
CLOSETIMEOUT	TCP 切断後の応答待ちタイマ (0-60 秒) 0 を設定すると待ちなしで切断 (RST パケット送出) する。	10
BUFFERCLEAR	TCP 未接続時 (サーバ時) や接続に失敗した時 (クライアント時) のシリアルデータの扱い "on": シリアルデータを破棄する。 "off": シリアルデータをバッファに残す。	off

備考

シリアルポートと TCP/IP との間でプロトコル変換を行います。

切断タイマ

TCP セッションの切断タイマを設定することを推奨します。WAN 側と TCP セッションが張られている状態で PPP が切断されても、TCP セッションは残ったままとなります。

トランスペアレントクライアントの再接続

トランスペアレントクライアントは、サーバへの接続に失敗した時は再接続を行います。ただし、CONNECTTRIGGER が datain かつ BUFFERCLEAR が on の場合は、受信したシリアルデータを破棄し、再接続を行いません。次のデータが来たら再度接続を行います。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

シリアルポートパラメータ設定は「6.2 シリアルポート通信パラメータ設定」を参照してください。

パケット化判定時間は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。
FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

6.5 UDP トランスペアレントモード

書式

rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) (DESTHOST) [(DESTPORT)]	UDP トランスペアレント宛先設定
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) delete	UDP トランスペアレント宛先削除
rsport 1 udpsrcport (SRCPOR)	UDP トランスペアレントソースポート設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DESTINDEX	宛先登録番号 (0-31)	未登録
DESTHOST	宛先ホストの IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN	未登録
DESTPORT	宛先ホストの UDP ポート番号 (1-65535)	30001
SRCPOR	送信元 UDP ポート番号 (1024-65535)	30001

備考

シリアルポートと UDP/IP との間でプロトコル変換を行います。UDP パケットの欠落によるデータ抜けが起こり得ます。UDP トランスペアレントモードでは欠落検出や再送は行いませんので、ユーザデータにおいてチェックサムなどで欠落を判定できるようにしてください。

備考 2

シリアルデータを複数の IP ホストへ同報できます。(シリアルデータサイズ×宛先数) に相当する量のトラフィックが IP 上で発生します。データ量によっては、特に低速の WAN 側へ送信する場合は、バッファオーバーフローによるデータ欠落が発生します。

備考 3

UDP トランスペアレントモードで送信する UDP パケットのペイロードサイズは最大 2048 バイトです。受信シリアルデータをパケットに区切る際は、受信データサイズが UDP パケットペイロード最大長に達するか、シリアルデータ間のアイドル時間が一定時間経過するかで判定します。アイドル時間の判定時間は "rsport 1 rxidletime" によって設定することができます。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

シリアルポートパラメータ設定は「6.2 シリアルポート通信パラメータ設定」を参照してください。

パケット化判定時間は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

6.6 COM リダイレクタモード

書式

rsport scfcport (SCFCPORT)	COM リダイレクタサーバポート
----------------------------	------------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
SCFCPORT	COM リダイレクタサーバの TCP ポート番号 (2300-65535)	33334

備考

COM リダイレクタサーバとして動作させます。Windows 用のクライアントソフト「WinCom リダイレクタ」と組み合わせて利用します。クライアントソフトは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

備考 2

COM リダイレクタモードでは、本装置のシリアルポートの通信速度などのパラメータは、WinCom リダイレクタ側から設定されます。Windows 上の仮想 COM ポートを利用するアプリケーションから指定してください。

関連項目

変換モードの選択は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

6.7 MODBUS 機能設定

書式

rsport 1 modbus server (FLAG)	サーバ機能
rsport 1 modbus slaveid (SLAVE)	スレーブ ID 設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": シリアルサーバ有効化 "disable": シリアルサーバ無効化	disable
SLAVE	スレーブ ID (1-247)	50

備考

MODBUS シリアル通信において、マスター側となるかスレーブ側となるかを選択します。スレーブ側の場合、サーバを有効化してください。また、自身のスレーブ ID を変更できます。

6.8 シリアルポート状態表示

書式

show rsport	シリアルポート状態表示
-------------	-------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show rsport			
DSR	:	off	DSR 入力状態
CTS	:	off	CTS 入力状態
Framing Error	:	0	フレーミングエラー数
Overrun Error	:	0	オーバーランエラー数
Buffer Overflow	:	0	バッファオーバーフロー数
Parity Error	:	0	パリティエラー数
Noise Error	:	0	ノイズエラー数

6.9 HTTP 変換モード

書式

rshttp 1 serverurl (URL)	宛先 URL 設定
rshttp 1 method (METHOD)	HTTP メソッド設定
rshttp 1 authentication (AUTHTYPE)	認証方法設定
rshttp 1 username (USER)	BASIC 認証ユーザ名設定
rshttp 1 password (PASSWORD)	BASIC 認証パスワード設定
rshttp 1 token (TOKEN)	BEARER 認証トークン設定
rshttp 1 contenttype (CONTENTTYPE)	ContentType 設定
rshttp 1 usedelimiter (USEDELIMITER)	区切り文字機能設定
rshttp 1 delimiter (DELIMITER)	区切り文字設定
rshttp 1 senddelimiter (SENDELIMITER)	区切り文字送信設定
rshttp 1 messagesize (MESSAGE SIZE)	HTTP BODY 最大長設定
rshttp 1 messagetimer (MESSAGETIMER)	送信タイマ設定
rshttp 1 retrycount (RETRYCOUNT)	再送回数設定
rshttp 1 retryinterval (RETRYINTERVAL)	再送間隔設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
URL	宛先 URL 対応しているスキームは、“http://”、“https://”、“https- ://” (サーバ証明書検証スキップ) です。	未登録
METHOD	“post”: POST メソッドで送信 “put”: PUT メソッドで送信	post
AUTHTYPE	“none”: 認証なし “basic”: BASIC 認証 “bearer”: BEARER 認証	none
USER	BASIC 認証ユーザ名 (63 文字まで) AUTHTYPE が “basic” の場合に利用します。	未登録
PASSWORD	BASIC 認証パスワード (31 文字まで) AUTHTYPE が “basic” の場合に利用します。	未登録
TOKEN	BEARER 認証トークン (127 文字まで) AUTHTYPE が “bearer” の場合に利用します。	未登録
CONTENTTYPE	リクエストヘッダに付加する ContentType 文字列 (127 文字まで)	text/plain

USEDELIMITER	"no": 区切り文字によってストリームを区切らない "yes": 区切り文字によってストリームを区切る	no
DELIMITER	区切り文字 16 進値 (00-ff) USEDELIMITER が "yes" の場合に利用します。	0d
SENDELIMITER	"no": 区切り文字を HTTP サーバへ送らない。 "yes": 区切り文字を HTTP サーバへ送る。	no
MESSAGESIZE	HTTP BODY 最大長 (1-2048 バイト)	2048
MESSAGETIMER	送信タイマ (0-99999999 秒) シリアルデータを受信してから指定時間無通信状態が経過すると HTTP リクエストを送信します。	10

備考

シリアルポートから受信したデータを HTTP リクエスト本文として送信します。HTTP サーバに対して送信が成功すると、シリアルポートへ [CR][LF]OK[CR][LF] を送信します。失敗すると [CR][LF]NG[CR][LF] を送信します。

ストリームの区切り

シリアルポートから受信するデータストリームは次のいずれかの条件で区切られ、HTTP リクエストとして送信されます。

条件	説明
区切り文字	シリアルデータストリームに指定文字が現れると、それまでに受信したデータを HTTP リクエストで送信します。区切り文字自体も送るかどうかを選択できます。
サイズ	シリアルデータを指定サイズ受信したら、HTTP リクエストを送信します。
無通信時間	シリアルデータを受信してから無通信状態が指定時間経過したら、HTTP リクエストを送信します。

関連項目

URL の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

サーバ証明書検証スキップは「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

6.10 SSL トランスペアレントモード

SSL トランスペアレントモード

SSL トランスペアレントモードは TCP トランスペアレントモードを SSL 上で行うモードです。SSL 上で行う点以外 TCP トランスペアレントモードと動作や設定内容は同じです。

関連項目

TCP トランスペアレントモードは「6.4 TCP トランスペアレントモード」を参照してください。

7 接点の監視と制御

本装置に装備するデジタル接点の利用に関するコマンドを説明します。

7.1 入力接点の設定

書式

di (CHANNEL) powerontrigger (FLAG)	省電力復帰トリガ設定 (OFF→ON)
di (CHANNEL) powerontrigger2 (FLAG)	省電力復帰トリガ設定 (ON→OFF)
di (CHANNEL) debounce (TIME)	デバウンス時間
di (CHANNEL) powersavingresettrigger (FLAG2)	省電力モード移行処理中に DI が変化した場合にリセットする

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	入力接点番号 (0-1, 100-107) 接点番号 100-107 は仮想接点入力です。	
FLAG	接点入力を省電力動作からの復帰トリガとするかどうか "off": 復帰トリガとしない。 "on": 復帰トリガとする。 仮想接点に対しては、省電力復帰トリガ設定は行えません。	off
TIME	入力検出を確定させる時間 (0-5000msec) 入力変化を検出した後、指定時間状態が維持されていたら変化信号とみなします。指定時間未満の場合はノイズとみなして無視します。 0 を指定するとタイマを起動せずに入力変化を信号変化とみなします。	0
FLAG2	省電力モード移行処理中に DI が変化した場合にリセットするかどうか "off": リセットしない。 "on": リセットする。 仮想接点に対しては、設定は行えません。	off

備考

"powerontrigger"は DI が OFF から ON への変化をトリガとします。"powerontrigger2"は DI が ON から OFF への変化をトリガとします。"powerontrigger2"を利用できないハードがあります。"show product"コマンドの表示において"Dlonoff wakeup"が"Not Supported"となっている場合、DI ON→OFF トリガは利用できません。

仮想接点入力について

番号 100-107 は仮想接点入力に対応します。仮想接点入力は、本装置上の MODBUS コイルレジスタ 100-107 を操作することによって変更できます。

関連項目

MODBUS レジスタは「13.13 MODBUS レジスタ」を参照してください。

7.2 出力接点の設定

書式

do (CHANNEL) initialctrl (INIT)	接点出力初期値
do (CHANNEL) powersaving (POWERSAVING)	省電力動作移行時の制御

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	出力接点番号 (0, 1)	
INIT	接点出力の初期値 "off": オフにする。 "on": オンにする。	off
POWERSAVING	省電力動作へ移行する際に行う制御 "none": 移行時及び復帰時に制御しない。 "off": 移行時にオフにする。復帰時には初期値に制御する。 "on": 移行時にオンにする。復帰時には初期値に制御する。	none

備考

接点出力の初期値は、電源 ON 起動直後に制御する状態です。"powersaving"を"none"以外に設定すると、省電力動作からの復帰時にも初期値へ制御します。

7.3 出力接点の制御

書式

do (CHANNEL) on[(HOLD)]	ON 制御
do (CHANNEL) off[(HOLD)]	OFF 制御
do * (CTRL) [(HOLD)]	接点 0, 1 を同時に制御

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
CHANNEL	出力接点番号 (0-1, 100-107)
HOLD	状態維持時間 (1-300000msec) パルス出力を行う。省略時はパルス出力とならず、元の状態へ戻さない。
CTRL	接点 0, 1 を同時に制御する際の内容 "on": 両方 ON "off": 両方 OFF "reset": 両方を初期値にする。 "0": 両方 OFF "1": 接点 0 を ON, 接点 1 を OFF にする。 "2": 接点 0 を OFF, 接点 1 を ON にする。 "3": 両方 ON

備考

接点出力状態を変更します。

備考 2

接点番号 100-107 は仮想接点出力です。外部 Modbus 機器のコイルレジスタを本コマンドで制御します。

関連項目

接点出力初期値の設定は「7.2 出力接点の設定」を参照してください。

仮想接点出力は「7.5 仮想接点出力の設定」を参照してください。

7.4 接点状態の表示

書式

show di [(CHANNEL)]	入力接点状態
show do [(CHANNEL)]	出力接点状態

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
CHANNEL	接点番号 (0-1, 100-107) 省略時は全ての入力接点もしくは出力接点の情報を表示します。 接点番号 100-107 は仮想接点です。

表示例

> show di	入力接点の状態を表示
di0=off di1=on	
di100=off di101=off di102=off di103=off di104=off di105=off	
di106=off di107=off	
> show di 100	仮想接点入力 100 の状態を表示
off	
> show do	出力接点の状態を表示
do0=off do1=off	
do100=fail do101=fail do102=fail do103=fail do104=fail do105=fail	
do106=fail do107=fail	
> show do 100	仮想接点出力 100 の状態を表示
fail	

備考

状態は"on"または"off"で示されます。

備考 2

仮想接点出力についてはさらに"fail"状態があります。仮想接点が無登録であったり、遠隔装置への疎通が取れない場合です。

関連項目

仮想接点出力は「7.5 仮想接点出力の設定」を参照してください。

7.5 仮想接点出力の設定

書式

do (CHANNEL) map modbus (SLAVE) (REGISTER) [(COUNT) [(INTERVAL)]]	仮想接点登録
do (CHANNEL) map delete	仮想接点削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
CHANNEL	仮想接点番号 (100-107)	未登録
SLAVE	MODBUS スレーブ番号 (1-247)	未登録
REGISTER	コイルレジスタ番号 (0-65535)	未登録
COUNT	失敗判定回数 (1-10) 遠隔状態ポーリングが連続して指定回数失敗した場合、同期が外れた状態 (FAIL) となります。 省略すると遠隔機器のポーリングを行いません。	ポーリングしない
INTERVAL	ポーリング間隔 (1-600 秒) 遠隔機器をポーリングする間隔です。	10 秒

備考

仮想接点番号に遠隔 MODBUS 機器のコイルレジスタを割り当てます。

TCP 機器とスレーブ番号の関連付け

遠隔機器へ MODBUS/TCP でアクセスする場合は、機器 IP アドレスとスレーブ番号を "mb slavemap" コマンドで関連付けてください。

遠隔機器のポーリング

"COUNT" に値を指定すると、遠隔機器の状態を定期的に読み取り、本機側の状態と一致しない場合は、遠隔機器の状態変更を行います。

関連項目

スレーブ番号割り当ては「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

8 省電力動作モード

本装置の省電力動作モード関連のコマンドを説明します。

8.1 省電力動作モード移行設定

書式

powersaving activate (FLAG)	省電力動作モードへ移行するかどうか
powersaving idletimer (TIMER)	モード移行タイマ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 省電力モードへ移行しない。 "on": 省電力モードへ移行する。	off
TIMER	移行タイマ (15-99999999 秒)	60

関連項目

省電力動作モード仕様は「13.9 省電力動作モード」を参照してください。

8.2 省電力動作モードから DSR 信号入力で復帰させる

書式

dsr powerontrigger (FLAG)	DSR 入力による復帰設定
---------------------------	---------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": DSR 入力時に省電力動作モードから復帰しない。 "on": DSR 入力時に省電力動作モードから復帰する。	off

備考

RS ポートの DSR 入力を省電力動作からの復帰トリガーとすることができます。

8.3 省電力動作モードから DI 信号入力で復帰させる

関連項目

DI 信号による省電力動作モード復帰設定は「7.1 入力接点の設定」を参照してください。

8.4 強制的に省電力動作モードへ移行する

書式

standby	省電力モードへ移行
---------	-----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

powersaving コマンドの設定内容にかかわらず、強制的に省電力動作モードへ移行します。PPP が確立している場合は、切断してから移行します。powersaving コマンドにおけるモード移行条件は無視します。

省電力モード 2 への移行について

省電力モード 2 への移行を行う場合で、64 秒以内に次のスケジュールが実行される場合には、省電力モードへ移行しません。

関連項目

powersaving コマンドは「8.1 省電力動作モード移行設定」を参照してください。

powersaving コマンドにおけるモード移行条件は「13.9 省電力動作モード」を参照してください。

9 ファイルの表示と操作

ファイル操作、SD カードについてのコマンドを説明します。

9.1 設定ファイルの保存

書式

copy config (DEST)	設定ファイルの保存
copy config temporary[(TIMEOUT)]	一時設定として保存

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DEST	"flash": FLASH メモリへ保存 "extmem": SD カードへ保存
TIMEOUT	一時設定のロールバックタイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマを起動しません。

備考 1

SD カードへ保存する場合のファイル名は、ディレクトリ 1 の "CURRENT.CFG" となります。

備考 2

出力先に "CURRENT.CFG" が既に存在する場合、既存ファイル名を "(YYMMDDSS).CFG" に変更します。
"YYMMDD" は元ファイル作成日付です。"SS" は枝番です。バックアップファイル数が一定数を超えたら、一番古いバックアップファイルを削除します。

一時設定

一時設定は、設定を永続保存せずに RAM 上に一時的に格納します。一時設定格納後に "reboot" コマンドで再起動すると一時設定で起動します。ロールバックタイマを設定すると、一時設定で起動後に指定時間経過すると元の永続設定で再起動します。

関連項目

ファイル作成については「13.5 ファイル作成」を参照してください。

9.2 技術サポート情報の保存

書式

copy tech-support (DEST)	技術サポート情報の保存
--------------------------	-------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DEST	"ramdisk": RAM ディスクへ保存 "extmem": SD カードへ保存

備考 1

ファイル名は、"CURRENT.TSP"となります。SD カードへ出力する場合、書き込み先はディレクトリ 1 となります。

備考 2

出力先に"CURRENT.TSP"が既に存在する場合、既存ファイル名を"(YYMMDDSS).TSP"に変更します。"YYMMDD"は元ファイル作成日付です。"SS"は枝番です。バックアップファイル数が一定数を超えたら、一番古いバックアップファイルを削除します。

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。
ファイル作成については「13.5 ファイル作成」を参照してください。

9.3 RAM ディスクから SD カードへファイルコピー

書式

copy ramdisk:(FILENAME) extmem	ファイルコピー
--------------------------------	---------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
FILENAME	対象ファイル名 名前部分(ピリオドの前)にのみワイルドカード("*")を指定できます。例: "*.CAP"

備考 1

ディスク間のファイルコピーは RAM ディスクから SD カードへ行うことができます。逆はできません。

備考 2

コピーはディレクトリ 1 に対して行います。ディレクトリ 1 に存在している同じ拡張子のファイルは全て削除します。

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.4 ファイルの削除

書式

delete file (DISK):(FILENAME)	ファイル削除
-------------------------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク "extmem": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem1": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem2": SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	対象ファイル名 名前部分(ピリオドの前)にのみワイルドカード("*")を指定できます。例: "*.CAP"

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.5 SD カードのマウント／アンマウント

書式

extmem mount	マウント
extmem umount	アンマウント

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

SD カードヘログを書き込む設定をしている場合、通電中に SD カードを抜く前にはアンマウントしてください。

関連項目

SD カードヘログを書き込む設定は「9.10 SD カードヘログを書き込む」を参照してください。

9.6 SD カードディレクトリ名設定

書式

extmem dir1 (DIRECTORY1)	ディレクトリ 1 名称
extmem dir2 (DIRECTORY2)	ディレクトリ 2 名称

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DIRECTORY1	ディレクトリ 1 の名称 英数大文字およびアンダースコア。最大 8 文字。	ASxxxxxx
DIRECTORY2	ディレクトリ 2 の名称 英数大文字およびアンダースコア。最大 8 文字。	AS250

ディレクトリ 1 のデフォルト名称

デフォルト値"ASxxxxxx"の"x"部分は MAC アドレスの下 6 桁となります。

ディレクトリ用途

ディレクトリ 1 には、ログやパケットキャプチャファイルなどの書き込みを行います。ディレクトリ 2 には基本的に書き込みを行いません。設定ファイルやファームウェアの配布用途として使用します。

備考

本設定は FLASH メモリ上に格納する必要があります。

9.7 SD カードファイルによる設定の更新

書式

extmem load config (FLAG)	機能フラグ
---------------------------	-------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	<p>"off": SD カード上の設定ファイルを FLASH メモリに取り込まない。</p> <p>"on": SD カード上の設定ファイルを FLASH メモリに取り込む。</p>	on

備考 1

SD カード上の設定ファイルを FLASH メモリに取り込む機能です。ファイル名は"LOADPERM.CFG"です。ディレクトリ 1 またはディレクトリ 2 に配置します。ディレクトリ 1 を優先します。

備考 2

取り込み動作は起動時に行います。ファイルの内容が FLASH メモリ上の設定内容と異なる場合、FLASH メモリを更新してから再起動します。

関連項目

ディレクトリ名は「9.6 SD カードディレクトリ名設定」を参照してください。

9.8 SD カードファイルによるファームウェアの更新

書式

extmem load firmware (FLAG)	ファームウェアの取り込みフラグ
extmem load boot (FLAG)	ブートローダの取り込みフラグ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	<p>"off": SD カード上のイメージファイルを FLASH メモリに取り込まない。</p> <p>"on": SD カード上のイメージファイルを FLASH メモリに取り込む。</p>	on

備考 1

SD カード上のイメージファイル(ファームウェアまたはブートローダ)を FLASH メモリに更新する機能です。ファームウェアイメージファイル名は"FIRMWARE.IMG"です。ブートローダイメージファイル名は"BOOT.IMG"です。ディレクトリ 1 またはディレクトリ 2 に配置します。ディレクトリ 1 を優先します。

備考 2

取り込み動作は起動時に行います。イメージファイルのバージョンが FLASH メモリ上のバージョンより新しい場合、FLASH メモリを更新してから再起動します。

関連項目

ディレクトリ名は「9.6 SD カードディレクトリ名設定」を参照してください。

9.9 SD カードへエクスポート

書式

extmem export (DIRECTORY)	SD カードへエクスポート
---------------------------	---------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DIRECTORY	出力先のディレクトリ名 英数大文字およびアンダースコア。最大 8 文字。

備考 1

指定ディレクトリへ、稼働中のファームウェア、ブートローダ、設定ファイルを出力します。ファイル名は次のとおりです。

ファイル種別	ファイル名
ファームウェアファイル	FIRMWARE.IMG
ブートローダファイル	BOOT.IMG
設定ファイル	LOADPERM.CFG

備考 2

用途としては機器交換を想定しています。新しい機器が参照できるディレクトリ名を指定してください。

関連項目

ディレクトリ名は「9.6 SD カードディレクトリ名設定」を参照してください。

9.10 SD カードへログを書き込む

書式

extmem logging (FLAG)	ログ出力フラグ
-----------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": SD カードへログを書き込まない。 "on": SD カードへログを書き込む。	off

備考 1

SD カードのディレクトリ 1 へ対してログを書き込みます。ログ発生時に随時ファイル追記します。SD カードは常時マウントされた状態となります。SD カードを抜く場合は、アンマウントしてから行なってください。

備考 2

ファイル名は"CURRENT.LOG"です。ファイルサイズが一定値を超えたら"(YYMMDDSS).LOG"に変更します。"YYMMDD"は作成日付、"SS"は枝番です。Web 管理画面よりダウンロードできます。

関連項目

SD カードのアンマウントは「9.5 SD カードのマウント／アンマウント」を参照してください。
 ファイル作成については「13.5 ファイル作成」を参照してください。

9.11 SD カード情報表示

書式

show extmem[cid]	状態表示
-------------------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show extmem		
Card Probed	: Yes	カードを検出しているかどうか
Mounted	: Yes	カードがマウントされているかどうか
Available	: 99 %	残容量の比率
> show extmem cid		カード識別情報を表示
Card Probed	: Yes	
Mounted	: Yes	
Available	: 99 %	
Manufacturer	: 0x27	製造者 ID
OEMID	: 0x5048	OEM/ApplicationID
ProductName	: HSK02	製品名
Revision	: 0x30	リビジョン
SerialNumber	: 1835738490	シリアル番号
Date	: 0x0e5	製造年月
Capacity	: 1934336 kBytes	カード容量

9.12 ファイル一覧表示

書式

show file list[(DISK)]	ファイル一覧表示
show file list (DISK):*(.EXT)	拡張子によるフィルタ

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク "extmem": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem1": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem2": SD カード(ディレクトリ 2) 省略時は全ディスクの一覧を表示します。
EXT	指定拡張子ファイルのみを表示します。 "CAP": キャプチャファイル "CFG": 設定ファイル "DAT": データファイル "IMG": イメージファイル(ファームウェア、ブートローダ) "LOG": ログファイル "TSP": 技術サポート情報ファイル

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.13 ファイル内容表示

書式

show file (DISK):(FILENAME) [(COUNT)]	ファイル内容表示
--	----------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク "extmem": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem1": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem2": SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名
COUNT	表示行数 正数の場合先頭から、負数の場合末尾までの行数を指定できます。 行数指定は、対象がテキストファイル (CFG, LOG, TSP) の場合のみ有効です。

備考

表示内容はファイル種別により異なります。対象がテキストファイル(CFG, LOG, TSP)の場合はその内容を表示します。イメージファイル(IMG)の場合は、対象イメージの製品およびバージョンを表示します。パケットキャプチャファイル(CAP)の場合は Ethernet か PPP かを表示します。

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。

9.14 パケットキャプチャの実行

書式

dump (INTERFACE) (DEST) [(SNAPLEN) [(MAXCOUNT)]]	キャプチャ開始
dump stop	キャプチャ停止

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
INTERFACE	"lan": LAN 側 "wan": WAN 側
DEST	"ramdisk": RAM ディスクへ出力する。 "extmem": SD カードへ出力する。
SNAPLEN	パケットあたりの最大キャプチャ長 (64-65535) 省略時は 65535 となります。
MACOUNT	キャプチャパケット数 (0-99999999) 指定個数キャプチャしたらキャプチャを停止します。0 を指定すると無制限にキャプチャします。 省略時は 0 となります。

備考

出力形式は PCAP 形式となります。キャプチャ中のファイル名は "CURRENT.CAP" です。キャプチャを停止するかファイルサイズが一定値を超えたら "(YYMMDDSS).CAP" に変更します。"YYMMDD" は作成日付、"SS" は枝番です。Web 管理画面よりダウンロードしてください。

関連項目

RAM ディスクについては「13.4 RAM ディスク」を参照してください。
ファイル作成については「13.5 ファイル作成」を参照してください。

9.15 パケットキャプチャ状態の表示

書式

show dump	状態表示
-----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show dump	
Interface : Ethernet	対象インタフェース
Storage : ramdisk	出力先
Count : 11	キャプチャしたパケット数
Started at : 2014/10/29 13:36:32	キャプチャ開始日時
> show dump	
packet capture is not working.	停止中の表示

9.16 ファイルの MD5 ハッシュ計算

書式

show file md5sum (DISK):(FILENAME)	MD5 ハッシュ計算
------------------------------------	------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DISK	"ramdisk": RAM ディスク "extmem": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem1": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem2": SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名

表示例

<pre>> show file md5sum extmem2:FIRMWARE.IMG md5: D83ADCC51322ED2B6F328EAC7AD70EB2</pre>

10 運用・管理機能

装置運用についてのコマンドを説明します。

10.1 ログインパスワードの変更

書式

main password (PASSWORD)	パスワード変更
--------------------------	---------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
PASSWORD	パスワード (半角英数字記号 15 文字以内)	system

備考

Telnet および Web 管理画面へのログイン時のパスワードです。パスワードは本体 FLASH メモリに格納します。"show config"では表示しません。

10.2 技術サポート情報の表示

書式

show all	技術サポート情報表示
show tech-support	技術サポート情報表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

関連項目

技術サポート情報のファイル保存は「9.2 技術サポート情報の保存」を参照してください。

10.3 装置情報の表示

書式

show product	装置情報表示
--------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示項目について

項目	説明
ProductName	本体機器名
SerialNumber	機器シリアル番号
MACAddress	Ethernet MAC アドレス
Bootloader	ブートローダバージョン
Firmware	ファームウェアバージョン
Firmware MD5	ファームウェア MD5 ハッシュ
RSPort	RS ポートの種別 (RS-232 または RS-485)
PSMode2	省電力動作モード 2 に対応しているかどうか Supported: 対応 Not Supported: 非対応
Dionoff wakeup	DI が ON から OFF へ変化した場合に、省電力動作モードから復帰できるかどうか Supported: 復帰できる Not Supported: 復帰できない
InputVoltMax	入力電圧最大値 (24V または 27V)

表示例

```
> show product
ProductName   : AS-250/KL
SerialNumber  : 10230500003
MACAddress    : 00:80:6d:7c:c0:02
Bootloader    : build 13
Firmware      : v1.7.1 build 3
Firmware MD5 : 97DE6E8D2C2F9EDE07C744FD05B46FEA
RSPort        : RS-232
PSMode2       : Supported
Dionoff wakeup : Not Supported
InputVoltMax  : 24V
```

10.4 設定を保存して再起動

書式

restart	再起動実行
---------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

編集中的設定を保存してから AS-250 を再起動します。通信モジュールの再起動は行いません。

関連項目

設定を保存しない再起動は「10.5 再起動」を参照してください。

10.5 再起動

書式

reboot[module]	再起動実行
-----------------	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

AS-250 を再起動します。"restart"コマンドとの違いは、設定保存を行わない点と通信モジュールの電源を切るかどうかを指定できる点です。引数に"module"を指定すると、通信モジュールの電源を切ってから再起動を行います。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

10.6 定期再起動

書式

autoreboot activate (FLAG)	定期再起動フラグ
autoreboot time (HH) [: (MM)]	定期再起動時刻

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"off": 定期再起動しない。 "on": 定期再起動する。	off
HH	実施時 (0-23)	0
MM	実施分 (0-59) 省略時は 0 となります。	0

備考

1日1回、指定時刻に再起動を行います。再起動の際、通信モジュールの電源を切ります。1日に複数回あるいは、週に1回など日時を柔軟に設定したい場合、あるいは通信モジュールの電源を切りたくない場合はスケジュール機能を利用してください。

関連項目

スケジュールコマンドは「10.11 スケジュール」を参照してください。
通信モジュールの電源を切らない再起動は「10.5 再起動」を参照してください。

10.7 RTC 時刻設定

書式

rtcstart (DATETIME)	RTC 時刻設定
---------------------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DATETIME	<p>内蔵 RTC に時刻を設定します。</p> <p>入力形式 (数字 12 文字): YYMMDDHHmmSS</p> <p>YY: 年 (00-99)</p> <p>MM: 月 (01-12)</p> <p>DD: 日 (01-31)</p> <p>HH: 時 (00-23)</p> <p>mm: 分 (00-59)</p> <p>SS: 秒 (00-59)</p> <p>例: 2008 年 10 月 7 日 14 時 21 分 38 秒 → 081007142138</p>

関連項目

RTC 現在値表示は「10.8 時刻表示」を参照してください。

10.8 時刻表示

書式

show time	時刻表示
-----------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

RTC に設定されている現在日時を表示します。

10.9 稼働時間表示

書式

show uptime	稼働時間表示
-------------	--------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

起動してからの稼働時間を表示します。

10.10 タイムゾーン

書式

timezone (TIMEZONE)	タイムゾーン設定
---------------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMEZONE	タイムゾーン (-47..48) GMT からのオフセットを 15 分単位で指定します。	36 (日本標準時)

10.11 スケジュール

書式

schedule (ID) (HOUR):(MIN) (DAY) (MON) [(COMMAND)]	スケジュール登録
schedule (ID) delete	スケジュール削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
ID	スケジュール登録番号 (0-4)	未登録
HOUR	時 (0-23)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
MIN	分 (0-59)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
DAY	日 (1-31)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
MON	月 (1-12)、ワイルドカード、リスト表記または範囲/間隔表記	未登録
COMMAND	制御コマンド (255 文字まで) "template:(テンプレート登録番号)"を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。	未登録

リスト表記

カンマで区切って複数の値を指定できます。リスト表記とその他の表記（範囲、間隔、ワイルドカード）は共存できません。

表記例	説明
*:0,30**	毎時 00 分と 30 分
0:0 1 3,5,7	3/1, 5/1, 7/1 の 00:00

範囲表記

ハイフンで範囲を指定します。間隔表記と共存できます。

表記例	説明
1-3:30**	01:30, 02:30, 03:30

間隔表記

スラッシュで間隔を指定します。範囲やワイルドカードと組み合わせて利用します。

表記例	説明
:/2**	偶数分
*:1-59/2**	奇数分
:/10**	毎時 00, 10, 20, 30, 40, 50 分

ワイルドカード

"*"を指定することにより、とりうるすべての値を指定します。間隔表記と組み合わせ可能です。

表記例	説明
: **	毎分

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
スケジュールで利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

省電力動作モード

スケジュールが設定されている状況で省電力動作モードに移行すると「省電力モード2」となります。「省電力モード2」非対応機においては、省電力動作設定とスケジュール設定を同時に入力することはできません。

関連項目

省電力動作モードは「8 省電力動作モード」を参照してください。

10.12 備考文字列の入力

書式

memo[(MEMO)]	備考文字列の設定
----------------	----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
MEMO	任意の文字列 (1-255 バイト) UTF-8 により日本語を入力できます。すべて全角文字の場合は 85 文字までです。 引数を指定しないか、"" を指定すると設定を消去します。	未設定

備考

設定データとして保存されます。設定データに対する備考として利用してください。装置動作には影響しません。

10.13 FLASH メモリ上の設定データの初期化

書式

clr	初期化実行
-----	-------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

設定データを初期化します。ただし、LAN 側 IP アドレスおよびネットマスクだけは初期化しません。本コマンド実行後、"restart"コマンドあるいは"copy config flash"コマンドを実行することにより FLASH メモリ上の設定データが初期化されます。

関連項目

"restart"コマンドは「10.4 設定を保存して再起動」を参照してください。

"copy config"コマンドは「9.1 設定ファイルの保存」を参照してください。

"clear config"コマンドは「10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化」を参照してください。

10.14 設定ファイルの格納先を選択する

書式

system config (DEST)	設定ファイル格納先選択
----------------------	-------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DEST	"flash": 格納先を FLASH メモリとする。 "extmem": 格納先を SD カードとする。	flash

備考 1

格納先として SD カードを選択した場合、SD カードが無いか、設定ファイル読み取り失敗時には FLASH メモリ内の設定で起動します。

備考 2

SD カード上の設定ファイル名は"CURRENT.CFG"です。ディレクトリ 1 に格納します。

備考 3

SD カード上の設定ファイルで起動する場合は、"system config extmem"を FLASH メモリ上のファイルと SD カード上のファイルの両方に設定する必要が有ります。

関連項目

設定ファイルの保存は「9.1 設定ファイルの保存」を参照してください。

10.15 設定データを表示する

書式

show config	設定データ表示
show config source	設定読込元表示
show config flash	FLASH メモリ上の設定を表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show config	編集中の設定を表示
main ip 192.168.1.254	
main mask 255.255.255.0	
domain 0 au.au-net.ne.jp user@au.au-net.ne.jp au 0.0.0.0/0	
0.0.0.0	
nat 47 * * * ipcp 0	
dnsrelay activate on	

表示例

> show config source	設定の読込元を表示
extmem	SD カード設定から起動を示す

備考

SD カード上の設定ファイルを表示するには、"show file"コマンドを利用します。

設定の読込元

設定の読込元には次の種類があります。

読込元表示	説明
flash	FLASH メモリ上の設定
extmem	SD カード上の設定ファイル
temporary	"config load"コマンドによって読み込んだ設定ファイル
embedded	ファームウェアに埋め込まれた設定ファイル 設定ファイルを埋め込んだカスタマイズファームウェアで表示されます。 標準ファームウェアには設定ファイルは埋め込まれていません。

関連項目

SD カード上のファイル表示は「9.13 ファイル内容表示」を参照してください。

設定ファイルの一時読込は「10.33 設定ファイルの一時読込」を参照してください。

10.16 ログの表示

書式

show log[(COUNT)]	ログ表示
--------------------	------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
COUNT	表示行数 (-1000..1000) 正数の場合、保持している最古のログからの行数です。負数の場合、最新のログまでの行数です。 省略時または0の場合は保持している全件数を表示します。

備考

メモリ上に保持しているログを表示します。SD カード上に保存されているログファイルの表示は、"show file"コマンドを利用してください。

関連項目

SD カード上のファイル表示は「9.13 ファイル内容表示」を参照してください。

10.17 ログの消去

書式

log clear	消去実行
-----------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考 1

メモリ上に保持しているログを消去します。SD カードへ出力済みのログには影響しません。

備考 2

"clear"コマンドでも消去できます。

関連項目

メモリ上に保持しているログの表示は「10.16 ログの表示」を参照してください。

"clear"コマンドは「10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化」を参照してください。

10.18 システムエラーログの表示

書式

show syserr	システムエラーログ表示
-------------	-------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

直近に発生したシステムエラーログを表示します。このログは不揮発領域に保存されます。

10.19 カウンタ／ログ／設定データの初期化

書式

clear (TARGET)	消去実行
----------------	------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
TARGET	<p>"allcounter": カウンタ("icmpstat", "etherr", "naterr", "neterr", "pppframe", "pppstat", "rsport")を初期化します。</p> <p>"config": 設定データを初期化します。</p> <p>"icmpstat": ICMP カウンタを初期化します。</p> <p>"etherr": イーサネットエラーカウンタを初期化します。</p> <p>"log": ログを初期化します。</p> <p>"naterr": NAT エラーカウンタを初期化します。</p> <p>"neterr": IP/TCP/UDP エラーカウンタを初期化します。</p> <p>"pppframe": PPP フレームカウンタを初期化します。</p> <p>"pppstat": PPP カウンタを初期化します。</p> <p>"rsport": シリアルポートエラーカウンタを初期化します。</p> <p>"syserr": システムエラーログを初期化します。</p>

備考

"clear config"は FLASH メモリ上の設定データを初期化します。"clr"コマンドとの違いは、LAN 設定およびパスワードも初期化される点です。

関連項目

clr コマンドは「10.13 FLASH メモリ上の設定データの初期化」を参照してください。

10.20 オープンソースソフトウェアライセンスの表示

書式

show osslicense	ライセンス表示
-----------------	---------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

本装置で利用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

10.21 SYSLOG 転送

書式

syslog ipaddress (SERVER)	syslog サーバアドレス
syslog port (PORT)	syslog サーバポート
syslog option (CATEGORY) (FLAG)	転送するカテゴリ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
SERVER	転送先の SYSLOG サーバ IP アドレス (X. X. X. X) "0.0.0.0"を設定すると転送しません。	0.0.0.0
PORT	転送先の SYSLOG サーバ UDP ポート番号 (1-65535)	514
CATEGORY	"system": システム関連 "rs232c": RS ポート関連 "auth": 認証関連 "ppp": PPP 関連 "module": 通信モジュール関連	未設定
FLAG	"off": 転送しない。 "on": 転送する。	off

備考

外部の SYSLOG サーバへログを転送します。転送を行う場合はサーバアドレスを設定してカテゴリを1つ以上"on"にしてください。

10.22 ファームウェアの更新

書式

firmware update (URL) [(AUTH) [md5: (MD5 URL)]]	ファームウェア更新 (HTTP)
firmware update (DISK) : (FILENAME)	ファームウェア更新 (ファイル)

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
URL	ファームウェアイメージファイルを示す URL
AUTH	認証指定 "none": 認証なし "basic:(ユーザ ID):(パスワード)": BASIC 認証ヘッダをつける。 省略時は認証ヘッダを HTTP リクエストに付加しません。
MD5 URL	MD5 ファイル URL ファームウェアイメージファイルの MD5 ハッシュを格納するファイルの URL 省略時は MD5 ファイルのダウンロードをしません。
DISK	"ramdisk": RAM ディスク "extmem": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem1": SD カード(ディレクトリ 1) "extmem2": SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名 ファームウェアイメージファイルのファイル名を指定してください。

備考

外部 HTTP サーバやローカルディスクのファームウェアイメージファイルを用いて更新を行います。

対応するスキーム

URL や MD5 URL を指定する場合、対応しているスキームは、"http://", "https://", "https-://"(サーバ証明書検証スキップ)です。

MD5 ハッシュのチェック

MD5 URL を指定した場合、ファームウェアイメージファイルのダウンロードに先立ち、MD5 ファイルのダウンロードを行います。MD5 ファイル内容が稼働中のファームウェア MD5 ハッシュと異なる場合にファームウェアイメージファイルをダウンロードします。さらに、ダウンロードしたファームウェアイメージファイルの MD5 ハッシュ値と MD5 ファイルの内容が一致するかどうかチェックします。

MD5 ファイルの内容

HTTP サーバに配置する MD5 ファイルの内容は、最初のトークンが、MD5 ハッシュ 16 進数文字列となるようにしてください。

MD5 ファイル内容例

9b08fe669b34cdc8bfe8783f5baa6809 as250fsc. img
ファイル内容の最初の単語が MD5 ハッシュを示します。続く文字列は無視します。

関連項目

URLの長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。
サーバ証明書検証スキップは「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

10.23 Wake on LAN マジックパケットの送信

書式

wol send (MACADDRESS) [(DEST) [(PORT)]]	マジックパケット送信
--	------------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
MACADDRESS	対象の MAC アドレスを入力します。 形式は“XX:XX:XX:XX:XX:XX”(XX は 16 進数値)となります。
DEST	マジックパケットは UDP パケットとして送信します。宛先の IP アドレス (X.X.X.X) を指定できます。 省略すると、LAN 側の directed broadcast となります。
PORT	マジックパケットは UDP パケットとして送信します。宛先のポート番号を指定できます。 省略すると 9 (discard) となります。

10.24 Wake on LAN マジックパケットの再送設定

書式

wol retry (COUNT) [(INTERVAL)]	マジックパケット再送設定
----------------------------------	--------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
COUNT	再送回数 (0-30)	0 (再送しない)
INTERVAL	再送間隔 (1-10 秒)	1

10.25 ping 実行

書式

ping [-t] [-n (COUNT)] [-l (SIZE)] [-w (TIMEOUT)] (DEST)	ping 実行
--	---------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
-t	CTRL+C が押下されるまで送信し続けます。
-n (COUNT)	送信回数 (1-99999) 省略時は 4 回です。
-l (SIZE)	ping の送信データバイト数 (1-1448) 省略時は 32 バイトです。
-w (TIMEOUT)	応答待ちタイムアウト時間 (1000-99999 ミリ秒) 省略時は 2000 です。
DEST	ping 送信先の IP アドレス (X. X. X. X) または FQDN

実行例

```
> ping 192.168.254.1
Pinging 192.168.254.1 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=1
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=2
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=3
Reply from 192.168.254.1: bytes=32 time=4ms seq=4
>
```

関連項目

FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

10.26 名前解決

書式

dig (NAME)	名前解決実行
------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
NAME	解決しようとする FQDN

実行例

```
> dig example.test.domain
XXX.XXX.XXX.XXX
>
```

関連項目

FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

10.27 ホスト名の設定

書式

hostname (HOSTNAME)	ホスト名設定
---------------------	--------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
HOSTNAME	ホスト名文字列 (半角英数字およびハイフン, 63 文字まで) "" を指定するとデフォルトホスト名となります。	AS250-XXXXXXXXXX

ホスト名について

装置を識別する名前を設定できます。この文字列は転送 SYSLOG 中のホスト名として利用されます。またテンプレート機能で利用できます。

デフォルトホスト名

デフォルトホスト名は、"AS250-(シリアル番号 11 桁)"となります。

関連項目

SYSLOG 転送は「10.21 SYSLOG 転送」を参照してください。

テンプレート機能は「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

10.28 テンプレート登録

書式

template (TEMPLATEID) (TEMPLATE)	テンプレート登録
template (TEMPLATEID) delete	テンプレート削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9)	未登録
TEMPLATE	テンプレート文字列 (UTF-8, 480 バイトまで) 文字列中に半角スペースを含む場合は、文字列全体をシングルクォートで括ってください。 例: template 0 'ただいまの時刻は \${NOW} です。'	未登録

キーワード

テンプレートはその利用時にテンプレート文字列中の置換キーワードが展開されます。置換キーワードは中括弧で括り、その先頭に '\$' を付けてください。例: \${show config}

備考

テンプレートには複数のキーワードを含むことができます。置換後のサイズは最大 512K バイトです。

関連項目

定義されている置換キーワードは「13.15 置換キーワード」を参照してください。
 テンプレートの置換テストは「10.29 テンプレートの置換テスト」を参照してください。
 テンプレートの利用は「13.10 テンプレートの利用」を参照してください。
 ホスト名は「10.27 ホスト名の設定」を参照してください。
 備考文字列は「10.12 備考文字列の入力」を参照してください。
 モバイル通信量カウンタは「3.15 モバイル通信量カウンタ」を参照してください。

10.29 テンプレートの置換テスト

書式

show template (TEMPLATEID)	テンプレート置換結果表示
----------------------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9)

備考

テンプレートの置換結果を表示します。

関連項目

テンプレートの登録は「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

10.30 スケジュール登録状況の表示

書式

show schedule	スケジュール登録状況表示
---------------	--------------

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show schedule	
alarm 2014/12/16-14:39	次回実行予定時刻
schedule 0:	スケジュール0の登録内容
command : log output template:3	実行コマンド
month : every month	毎月実行
day : every day	毎日実行
hour : every hour	毎時実行
minute : 1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37	実行する分のリスト
39 41 43 45 47 49 51 53 55 57 59	
schedule 1:	スケジュール1の登録内容
command : reboot	
month : every month	
day : every day	
hour : 22	22時実行
minute : 30	30分実行
schedule 2 is not set.	スケジュール2は未登録
schedule 3 is not set.	
schedule 4 is not set.	

10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録

書式

evcmd (EVCMDID) (EVENT) (COMMAND)	イベントコマンド登録
evcmd (EVCMDID) delete	イベントコマンド削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
EVCMDID	イベントコマンド登録番号 (0-9)	未登録
EVENT	イベント名	未登録
COMMAND	実行するコマンドライン 実行できるのは制御コマンドのみです。 "template:(テンプレート登録番号)"を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。	未登録

登録できるイベント

"EVENT"に指定できるイベントを示します。

イベント名	説明
boot	起動イベント 起動要因にかかわらず、起動時に発行するイベントです。
poweron	電源投入起動イベント 電源投入による起動時に発行するイベントです。
wakeup	省電力動作モードからの復帰時に発行するイベントです。
trigger_wakeup	外部トリガによって省電力動作モードから復帰した場合に発行するイベントです。 外部トリガは IP 着信、SMS 受信、DI 変化、DSR 検出のいずれかです。
timer_wakeup	タイマによって省電力動作モードから復帰した場合に発行するイベントです。
di0on	接点入力 0 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di0off	接点入力 0 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di1on	接点入力 1 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di1off	接点入力 1 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di100on	仮想接点入力 100 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di100off	仮想接点入力 100 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di101on	仮想接点入力 101 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di101off	仮想接点入力 101 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di102on	仮想接点入力 102 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。

di102off	仮想接点入力 102 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di103on	仮想接点入力 103 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di103off	仮想接点入力 103 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di104on	仮想接点入力 104 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di104off	仮想接点入力 104 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di105on	仮想接点入力 105 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di105off	仮想接点入力 105 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di106on	仮想接点入力 106 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di106off	仮想接点入力 106 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
di107on	仮想接点入力 107 が OFF から ON になった場合に発行するイベントです。
di107off	仮想接点入力 107 が ON から OFF になった場合に発行するイベントです。
do100fail	仮想接点出力 100 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do100recover	仮想接点出力 100 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do101fail	仮想接点出力 101 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do101recover	仮想接点出力 101 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do102fail	仮想接点出力 102 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do102recover	仮想接点出力 102 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do103fail	仮想接点出力 103 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do103recover	仮想接点出力 103 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do104fail	仮想接点出力 104 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do104recover	仮想接点出力 104 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do105fail	仮想接点出力 105 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do105recover	仮想接点出力 105 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do106fail	仮想接点出力 106 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do106recover	仮想接点出力 106 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
do107fail	仮想接点出力 107 が fail 状態になった場合に発行するイベントです。
do107recover	仮想接点出力 107 が fail 状態から復旧した場合に発行するイベントです。
pppconnected	PPP 接続成功時に発行するイベントです。
pppdisconnected	PPP 切断時に発行するイベントです。

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
evcmd で利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

利用例

```
> evcmd 0 boot dump wan extmem
```

起動時に WAN 側のパケットキャプチャを開始します。

```
> evcmd 0 poweron copy tech-support extmem
```

電源 ON 起動時に技術サポート情報を SD カードへ出力します。

```
> evcmd 0 dilon connect
```

入力接点 1 が ON になったら PPP 接続を行います。

```
> template 0 'di0=${DI0} di1=${DI1}'
```

```
> template 1 'wpost http://test.example/post/${SERIAL} none template:0'
```

```
> evcmd 0 di0on template:1
```

```
> evcmd 1 di0off template:1
```

```
> evcmd 2 dilon template:1
```

```
> evcmd 3 di1off template:1
```

入力接点が変わったら、外部 HTTP サーバへ接続状態を POST します。

10.32 ログの出力

書式

log output (LEVEL) (MESSAGE)	指定メッセージをログ出力
log output template: (TEMPLATEID)	テンプレートを指定してログ出力

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
LEVEL	ログレベル "normal": ノーマルレベル "warning": 警告レベル "error": エラーレベル
MESSAGE	メッセージ文字列 (250 バイトまで)
TEMPLATEID	テンプレート登録番号 (0-9) 登録済みのテンプレート番号を指定して、テンプレート置換内容をログ出力します。 テンプレート置換内容が 250 バイトを超える場合はログ出力しません。 テンプレートによる出力ログのレベルは "normal" となります。

備考

出力する内容の先頭に "msg:" を付加します。

10.33 設定ファイルの一時読込

書式

config load (URL) [(AUTH) [(TIMEOUT)]]	設定ファイルをダウンロード
config load (DISK) : (FILENAME) [(TIMEOUT)]	設定ファイルをディスクから読込

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
URL	設定ファイルを示す URL 外部 HTTP サーバより設定ファイルをダウンロードします。 対応しているスキームは、“http://”、“https://”、“https-://” (サーバ証明書検証スキップ) です。
AUTH	認証指定文字列 “none”: 認証なし “basic:(ユーザ名):(パスワード)”: HTTP リクエストに BASIC 認証ヘッダを付加します。
DISK	“ramdisk”: RAM ディスク “extmem”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem1”: SD カード(ディレクトリ 1) “extmem2”: SD カード(ディレクトリ 2)
FILENAME	ファイル名 設定ファイルのファイル名を指定してください。
TIMEOUT	ロールバックタイマ (0-86400 秒) 0 を指定するとタイマを起動しません。

備考 1

設定ファイルを外部 HTTP サーバあるいはディスクから読み込みます。読み込んだファイルの設定内容で再起動します。

備考 2

読み込んだ設定は次回再起動時に失われ元の設定で起動します。設定を永続させるには再起動する前に、“copy config”コマンドで保存してください。

備考 3

ディスク上の設定ファイル内容を反映させるのではなく、内容を参照したい場合は“show file”コマンドを利用してください。

関連項目

設定ファイル保存は「9.1 設定ファイルの保存」を参照してください。

設定ファイル表示は「9.13 ファイル内容表示」を参照してください。

URL の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。

サーバ証明書検証スキップは「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

10.34 コマンドの遅延実行

書式

delay (DELAYID) (TIMEOUT) (COMMAND)	遅延実行登録
delay (DELAYID) cancel	遅延実行取消

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
DELAYID	遅延実行登録番号 (0-2)
TIMEOUT	遅延時間 (0-86400 秒)
COMMAND	実行するコマンドライン 実行できるのは制御コマンドのみです。 "template: (テンプレート登録番号)" を指定すると、テンプレートに登録したコマンドラインを実行します。

備考

制御コマンドを遅延実行します。実行時刻前なら実行の取り消しができます。

コマンド

コマンドとして指定できるのは、制御コマンドです。設定コマンドや表示コマンドは指定しても機能しません。なお、制御コマンドのうち以下に挙げるものは指定できません。

項目	説明
delay で利用できない制御コマンド	clr, dig, ping, quit, restart

利用例

```
> evcmd 0 di0on delay 0 30 sms send 090xxxxxxx DIO ON
```

```
> evcmd 1 di0off delay 0 cancel
```

DIO が 30 秒間 ON だったら SMS を送信します。

```
> evcmd 0 boot delay 0 120 standby
```

起動から 120 秒経ったら強制的に省電力動作モードへ移行します。

10.35 本機に内蔵されたルート証明書の表示

書式

show cert embca	ルート証明書一覧表示
show cert embca (ID)	ルート証明書詳細表示

コマンド種別

表示コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

表示例

> show cert embca	ルート証明書一覧表示
0: Baltimore CyberTrust Root	
1: DigiCert High Assurance EV Root CA	
2: DST Root CA X3	
...	
>	

表示例

> show cert embca 0	ルート証明書詳細表示
Certificate issued to	
Common name : Baltimore CyberTrust Root	
Organization: Baltimore	
Unit : CyberTrust	
Certificate issued by	
Common name : Baltimore CyberTrust Root	
Organization: Baltimore	
Unit : CyberTrust	
Not before : 2000/05/12	
Not after : 2025/05/12	
RSA bitsize : 2048	
Sig type : SHA1	
>	

11 MODBUS 機能

MODBUS 機能についてのコマンドを説明します。

11.1 MODBUS スレーブマップ

書式

mb slavemap (SLAVE) rs1 [(REAL_SLAVE)]	シリアルデバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) tcp (TCP_HOST) [(UNIT_ID)]	TCP デバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) ssl (SSL_HOST) [(UNIT_ID)]	SSL デバイスマップ
mb slavemap (SLAVE) ssl- (SSL_HOST) [(UNIT_ID)]	SSL デバイスマップ(サーバ証明書 検証スキップ)
mb slavemap (SLAVE) delete	マップ解除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
SLAVE	スレーブ番号(1-247) 本機に設定されているスレーブ番号を指定することはできません。	未登録
REAL_SLAVE	スレーブ番号(1-247) デバイスに設定されているスレーブ番号です。	"SLAVE"と同じ番号
TCP_HOST	MODBUS/TCP デバイスの IP アドレスまたは FQDN デバイスの TCP ポート番号が 502 ではない場合、末尾にコロン ' :' に続けて番号を指定できます。	未登録
SSL_HOST	"MODBUS/TCP over SSL" デバイスの IP アドレスまたは FQDN デバイスの TCP ポート番号が 33502 ではない場合、末尾にコロン ' :' に続けて番号を指定できます。	未登録
UNIT_ID	MODBUS/TCP ヘッダに示すユニット番号です。宛先が MODBUS ゲート ウェイ配下のデバイスの場合、そのスレーブ番号を指定してく ださい。	0

備考

スレーブ番号とデバイスを対応付けます。登録できるスレーブは 8 個までです。

備考 2

スレーブマップは、本機 MODBUS マスタ機能がクエリーを送信しようとする際に参照します。

備考 3

本コマンドで対応付けされていないスレーブ番号は、RS ポートに接続されているデバイスのスレーブ番号とみなします。

備考 4

"ssl"指定は、スレーブとの間で SSL 接続を行い、SSL 上で MODBUS/TCP 通信を行います。

備考 5

"ssl-"指定は、"ssl"指定と同様ですが、サーバ証明書の検証を行いません。

関連項目

本機のスレーブ ID 設定は「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。

FQDN の長さの制限は「1.3 値の長さの制限」を参照してください。
SSL サーバ証明書の検証は「13.17 SSL/TLS」を参照してください。

11.2 MODBUS/TCP クライアント設定

書式

mb tcp-client inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定
mb tcp-client keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	TCP キープアライブ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	無通信切断タイマ (0-600sec) 0 を指定すると、無通信切断を行いません。	10
KEEPALIVETIME	無通信状態になってから最初の TCP キープアライブポーリングを行うまでの時間 (0-65535 秒) 0 を指定すると TCP キープアライブを行いません。	300
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔 (1-65535 秒)	10
RETRY	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回)	6

備考

TCP クライアントセッションの無通信切断タイマを設定します。

備考 2

"MODBUS/TCP over SSL"で接続中のクライアントセッションにも本コマンド設定が適用されます。

11.3 MODBUS/TCP サーバ設定

書式

mb tcp-server (FLAG)	TCP サーバ機能
mb tcp-server port (PORT)	TCP サーバポート設定
mb tcp-server inactivitytimer (TIMER)	無通信切断タイマ設定
mb tcp-server keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	TCP キープアライブ設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": TCP サーバ有効化 "disable": TCP サーバ無効化	disable
PORT	TCP サーバポート番号 (1-65535)	502
TIMER	無通信切断タイマ (0-600sec) 0 を指定すると、無通信切断を行いません。	10
KEEPALIVETIME	無通信状態になってから最初の TCP キープアライブポーリングを行うまでの時間 (0-65535 秒) 0 を指定すると TCP キープアライブを行いません。	300
INTERVAL	TCP キープアライブポーリング間隔 (1-65535 秒)	10
RETRY	TCP キープアライブ切断判定回数 (1-65535 回)	6

備考

MODBUS/TCP サーバの設定を行います。

備考 2

"mb tcp-server port"コマンドで指定した番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 3

MODBUS/TCP サーバと、"MODBUS/TCP over SSL"サーバは同時に起動できます。本ページの無通信切断タイマおよび TCP キープアライブ設定は、"MODBUS/TCP over SSL"サーバに対しても適用されます。

関連項目

"MODBUS/TCP over SSL"サーバは「11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ」を参照してください。

11.4 MODBUS/TCP over SSL サーバ

書式

mb ssl-server (FLAG)	SSL サーバ機能
mb ssl-server port (PORT)	SSL サーバポート設定

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FLAG	"enable": SSL サーバ有効化 "disable": SSL サーバ無効化	disable
PORT	SSL サーバポート番号 (1-65535)	33502

備考

"MODBUS/TCP over SSL"サーバの設定を行います。

備考 2

"mb ssl-server port"コマンドで指定した番号が他のサーバポートと衝突する場合、設定保存時("restart"コマンド、"copy config"コマンド)にエラーとなります。

備考 3

MODBUS/TCP サーバと、"MODBUS/TCP over SSL"サーバは同時に起動できます。

関連項目

MODBUS/TCP サーバは「11.3 MODBUS/TCP サーバ設定」を参照してください。

11.5 MODBUS レスポンス遅延

書式

mb respondedelay (DELAY)	レスポンス遅延設定
--------------------------	-----------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
DELAY	遅延時間 (0-100msec)	0

備考

MODBUS クエリー受信後、指定時間経過してからレスポンスを送信します。

11.6 MODBUS レスポンスタイマ

書式

mb responsetimer (TIMER)	レスポンスタイマ変更
--------------------------	------------

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL

値

項目	説明	デフォルト値
TIMER	レスポンスタイマ (1-10sec)	3

備考

MODBUS クエリー送信後、応答を受信するまでの待ち時間を設定します。

11.7 MODBUS クエリー発行

書式

mb query (SLAVE) read_coils (REG) (BITNUM)	Read Coils 実行
mb query (SLAVE) read_discrete_inputs (REG) (BITNUM)	Read Discrete Inputs 実行
mb query (SLAVE) read_holding_registers (REG) (REGNUM)	Read Holding Registers 実行
mb query (SLAVE) read_input_registers (REG) (REGNUM)	Read Input Registers 実行
mb query (SLAVE) write_single_coil (REG) (FLAG)	Write Single Coil 実行
mb query (SLAVE) write_single_register (REG) (VAL)	Write Single Register 実行

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
SLAVE	スレーブ ID (1-247)
REG	開始レジスタアドレス (0-65535)
BITNUM	レジスタ数 (1-2000)
REGNUM	レジスタ数 (1-125)
FLAG	コイル設定値 "on": ON "off": OFF
VAL	レジスタ設定値 (0-65535)

備考

スレーブデバイスに対してクエリーを送信、レスポンスを受信します。read 系のクエリーについては、受信したレジスタ内容を表示します。

シリアルサーバについて

本コマンドでは、本機は MODBUS マスターとして動作します。スレーブデバイスがシリアル側にある場合、本機側がシリアルサーバとして設定されているとクエリーは失敗します。"rsport"コマンドでシリアルサーバを無効化してください。

TCP デバイスに対するクエリー

TCP デバイスに対してクエリーを送信する場合は、"mb slavemap"コマンドで対象デバイスに対してスレーブ番号を対応付けてください。

関連項目

シリアルサーバは「6.7 MODBUS 機能設定」を参照してください。
スレーブ番号対応付けは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

11.8 診断リクエスト

書式

mb ping (SLAVE) [(COUNT)]	診断リクエスト送信
-----------------------------	-----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明
SLAVE	宛先スレーブ番号 (1-247)
COUNT	リクエストの送信回数 省略時は 4 回

備考

診断ファンクションの"Return Query Data"(サブファンクション=0)を指定スレーブに対して送信し、スレーブからエコーレスポンスあるいは例外レスポンスを受信します。MODBUS リクエストの到達性確認に利用します。応答がタイムアウトする場合は、配線の確認、RS-485 通信パラメータの確認、機器スレーブ番号の確認、スレーブマップ登録の確認を行なってください。

TCP デバイスに対するクエリー

TCP デバイスに対してクエリーを送信する場合は、"mb slavemap"コマンドで対象デバイスに対してスレーブ番号を対応付けてください。

関連項目

スレーブ対応付けは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

11.9 MODBUS レジスタマップ

書式

mb regmap (LOCALREGNO) (SLAVE) (REMOTEREGNO) (REGNUM) [(INTERVAL)]	レジスタマップ登録
mb regmap (LOCALREGNO) delete	レジスタマップ削除

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
LOCALREGNO	本機側レジスタ番号 (4001-465536)	未登録
SLAVE	遠隔装置スレーブ番号 (1-247)	未登録
REMOTEREGNO	遠隔側レジスタ番号 (4001-465536) LOCALREGNO と同じ種別のレジスタを指定してください。	未登録
REGNUM	レジスタ数 (1-2000) ビット型のレジスタは 2000 まで、16 ビット型のレジスタは 125 までとなります。	未登録
INTERVAL	ポーリング間隔 (1..86400 秒)	10

レジスタマップ

遠隔装置のレジスタをポーリングし、本機レジスタにコピーします。レジスタマップ機能で使用できる本機側レジスタは次の通りです。レジスタは「レジスタ番号」で指定します。

本機側レジスタ番号	説明
004001..065536	コイルレジスタ (4000..65535)
104001..165536	入力ステータスレジスタ (4000..65535)
304001..365536	入力レジスタ (4000..65535)
404001..465536	保持レジスタ (4000..65535)

レジスタ範囲

1つの設定行で連続した範囲のレジスタをコピーすることができます。

設定行数制限

設定行は 8 行まで登録することができます。各設定行の本機側レジスタ範囲は重複しないようにする必要があります。

遠隔レジスタ

遠隔装置のレジスタは、本機側レジスタと同じ種別の番号を指定してください。INTERVAL で指定した間隔でポーリングします。値の取得に失敗した場合は、本機側レジスタには 0 を設定します。

読み出し専用

レジスタマップで割り当てた本機側レジスタは読み出し専用です。"data"コマンド、"template"コマンドと組み合わせて利用してください。

関連項目

MODBUS レジスタ番号は「13.13 MODBUS レジスタ」を参照してください。

"template"コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
"data field"コマンドは「12.1 データ定義」を参照してください。

12 データ記録

データ記録についてのコマンドを説明します。

12.1 データ定義

書式

data field (FIELDNO) (FIELDNAME) (FIELDVALUE)	フィールド定義
data field (FIELDNO) delete	フィールド削除
data dest m2mcloud (M2M_CLOUD_FLAG)	M2M クラウド送信フラグ

コマンド種別

設定コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

値

項目	説明	デフォルト値
FIELDNO	フィールド番号 (0-15)	未登録
FIELDNAME	フィールド名 (31 文字まで)	未登録
FIELDVALUE	フィールド値 (31 文字まで) 置換キーワードあるいは固定文字列を登録します。	未登録
M2M_CLOUD_FLAG	"off": M2M クラウドヘレコードを送らない。 "on": M2M クラウドヘレコードを送る。	off

備考

複数フィールドからなるデータレコードを定義します。各フィールドには名前と置換キーワードを設定します。コマンド"data record"を実行すると置換キーワードが現在値で置換されレコードが生成されます。フィールド値が定義されているキーワードでない場合は置換を行わずフィールド値をそのまま出力します。生成されたレコードはコマンド"data dest"で設定した宛先で記録されます。

関連項目

定義されている置換キーワードは「13.15 置換キーワード」を参照してください。
"data record"コマンドは「12.2 データレコード生成」を参照してください。

12.2 データレコード生成

書式

data record	レコード生成
-------------	--------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

コマンド"data field"で定義したレコードを生成します。フィールド値として定義した置換キーワードがコマンド実行時点の値に置換されます。

関連項目

"data field"コマンドは「12.1 データ定義」を参照してください。

12.3 データ表示

書式

show data	データ現在値表示
-----------	----------

コマンド種別

制御コマンド

対象製品

AS-250/S AS-250/F-SC AS-250/F-KO AS-250/X AS-250/KL AS-250/NL AS-250/SL

備考

コマンド"data field"で定義した各フィールドの置換キーワードを現在値で置換して表示します。

関連項目

"data field"コマンドは「12.1 データ定義」を参照してください。

13 付録

13.1 SMS コマンド仕様

メッセージの種別

メッセージの種別を示します。

種別	説明
コマンド	AS-250 が受信するメッセージです。本文にコマンド文字列を格納します。
レスポンス	AS-250 が送信するメッセージです。受信したコマンドに応じた通知内容を本文に格納します。 コマンドによってはレスポンスを返信しないものがあります。
イベント通知	AS-250 が自発的に送信するメッセージです。イベントの発生を通知します。

送信ヘッダ

AS-250 が送信するメッセージには本文中にヘッダを付加します。ヘッダの書式は、"(YY/MM/DD_HH:mm_SSS)"となります。"YY/MM/DD_HH:mm"は送信日時です。"SSS"は送信毎にカウントする番号です。日が変わると 1 に戻します。"sms send"コマンドにより送信するメッセージにはヘッダは付けません。

接続/切断コマンド

PPP の接続/切断を行います。

書式	説明
connect (APN)	コマンド PPP 接続を要求します。 APN: APN または接続先登録番号 (0-4)
forceconnect (APN)	コマンド PPP 強制接続を要求します。既に接続中の場合は切断してから指定 APN へ接続させます。 APN: APN または接続先登録番号 (0-4)
disconnect	コマンド PPP 切断を要求します。
connected (APN) (IP)	レスポンス PPP 接続成功を通知します。 APN: 接続先 APN IP: WAN 側 IP アドレス
disconncted (APN) (CAUSE)	レスポンス PPP 切断あるいは接続失敗を通知します。 APN: 接続先 APN CAUSE: 切断要因 "local": AS-250 側から切断した場合 "sms": SMS コマンドによる切断 "peer": 相手 PPP 側から切断した場合 "dial": ダイアルエラー

再起動コマンド

AS-250 の再起動を行います。

書式	説明
restart	コマンド AS-250 を再起動します。

PPP 状態取得コマンド

PPP 状態を取得します。

書式	説明
statusreq[ppp]	コマンド PPP 状態を要求します。
status disconnected	レスポンス PPP が切断されていることを示します。
status (APN) (IP)	レスポンス PPP が接続中であることを示します。 APN: 接続先 APN IP: WAN 側 IP アドレス

入力/出力接点状態取得コマンド

入力/出力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq dio	コマンド 接点状態を要求します。
status dio (STATUS)	レスポンス 接点状態を通知します。 STATUS: 4 桁数値 (iioo) 例: 0000 di0=off di1=off do0=off do1=off 1010 di0=on di1=off do0=on do1=off

入力接点状態取得コマンド

入力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq di (CHANNEL)	コマンド 入力接点状態を要求します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107)
status di (CHANNEL) (STATUS)	レスポンス 入力接点状態を通知します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off" または "on"

出力接点状態取得コマンド

出力接点状態を取得します。

書式	説明
statusreq do (CHANNEL)	コマンド 出力接点状態を要求します。

	CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107)
status do (CHANNEL) (STATUS)	レスポンス 出力接点状態を通知します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off"または"on"

LAN 情報取得コマンド

LAN 情報を取得します。

書式	説明
statusreq lan	コマンド LAN 情報を要求します。
status lan ip=(IP) mac=(MAC)	レスポンス LAN 情報を通知します。 IP: LAN 側 IP アドレス MAC: MAC アドレス

装置情報取得コマンド

装置情報を取得します。

書式	説明
statusreq product	コマンド 装置情報を要求します。
status product (PRODUCT) (VERSION) S/N=(SERIAL)	レスポンス 装置情報を通知します。 PRODUCT: 本体装置名 VERSION: ファームウェアバージョン SERIAL: シリアル番号

通信モジュール情報取得コマンド

通信モジュール情報を取得します。

書式	説明
statusreq module	コマンド 通信モジュール情報を要求します。
status module imei=(IMEI) revision=(REVISION)	レスポンス 通信モジュール情報を通知します。 IMEI: IMEI 番号 REVISION: バージョン情報

位置情報取得コマンド

緯度、経度を取得します。

書式	説明
statusreq gps	コマンド 位置情報を要求します。
status gps (LAT), (LON)	レスポンス

	位置情報を通知します。 LAT: 緯度 LON: 経度
--	-----------------------------------

出力接点制御

出力接点を制御します。

書式	説明
do (CHANNEL) (CTRL) [(HOLD)]	コマンド 出力接点の制御を要求します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107, *) CTRL: 制御 (on/off/reset) HOLD: パルス出力時間 (1-300000msec)
done (CMD)	レスポンス 接点制御完了を通知します。 CMD: コマンド内容

E メール送信要求

E メールを事前設定してある宛先に送るよう要求します。

書式	説明
mail show (CMD)	コマンド E メール送信を要求します。 CMD: メール内容 "config": 設定データ "log": ログデータ "all": 技術サポート情報

Wake on LAN 要求

Wake on LAN マジックパケットの送信を要求します。

書式	説明
wol send (MAC) [(IP) [(PORT)]]	コマンド マジックパケットを送信を要求します。 MAC: 対象 MAC アドレス IP: 宛先 IP PORT: 宛先ポート

SMS 通知停止

SMS 通知の送信を一時的に停止させます。

書式	説明
pause (FLAG)	コマンド SMS 通知の停止/解除を指示します。 FLAG: "on"=停止、"off"=解除

入力接点変化の通知

入力接点変化を通知します。

書式	説明
notify di (CHANNEL) (STATUS)	イベント通知 入力接点変化があったことを示します。 CHANNEL: 接点番号 (0-1, 100-107) STATUS: "off"または"on"

モバイル使用量しきい値超過通知

モバイル使用量がしきい値を超えたことを通知します。

書式	説明
notify wanthresh ((KBYTES) kbytes since YY/MM/DD)	イベント通知 モバイル使用量がしきい値を超えたことを示します。 KBYTES: 使用量 (kbytes)

モバイル使用量月次報告

モバイル使用量の月間使用量を通知します。

書式	説明
notify wanreport ((KBYTES) kbytes since YY/MM/DD)	イベント通知 モバイル使用量の月間使用量を通知します。 KBYTES: 使用量 (kbytes)

WAN キープアライブ失敗通知

WAN キープアライブが失敗したことを通知します。

書式	説明
notify keepalivefailure domain=(DOMAINID) target=(TARGET)	イベント通知 WAN キープアライブが失敗したことを通知します。 DOMAINID: 接続先登録番号 TARGET: PING 送信先ホストの IP または FQDN

13.2 イベントメールデフォルト件名

デフォルト件名

イベントメールにおけるデフォルト件名は以下のとおりです。

イベント	デフォルト件名
di0on	as250 di0 on
di0off	as250 di0 off
di1on	as250 di1 on
di1off	as250 di1 off
di100on	as250 di100 on
di100off	as250 di100 off
di101on	as250 di101 on
di101off	as250 di101 off
di102on	as250 di102 on
di102off	as250 di102 off
di103on	as250 di103 on
di103off	as250 di103 off
di104on	as250 di104 on
di104off	as250 di104 off
di105on	as250 di105 on
di105off	as250 di105 off
di106on	as250 di106 on
di106off	as250 di106 off
di107on	as250 di107 on
di107off	as250 di107 off
wanthresh	as250 wantresh
wanreport	as250 wanreport
showconfig	as250 show config
showlog	as250 show log
showall	as250 show all
keepalivefailure	as250 keepalive failure
pppconnected	as250 PPP connected

備考

件名は設定により変更できます。

関連項目

件名変更は「5.3 イベント設定」を参照してください。

13.3 イベントメール本文

メール本文

イベントメールにおける本文は以下のとおりです。

イベント	本文
di0on	(TIMESTAMP) di0 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di0off	(TIMESTAMP) di0 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di1on	(TIMESTAMP) di1 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di1off	(TIMESTAMP) di1 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di100on	(TIMESTAMP) di100 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di100off	(TIMESTAMP) di100 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di101on	(TIMESTAMP) di101 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di101off	(TIMESTAMP) di101 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di102on	(TIMESTAMP) di102 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di102off	(TIMESTAMP) di102 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di103on	(TIMESTAMP) di103 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di103off	(TIMESTAMP) di103 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di104on	(TIMESTAMP) di104 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di104off	(TIMESTAMP) di104 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di105on	(TIMESTAMP) di105 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di105off	(TIMESTAMP) di105 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di106on	(TIMESTAMP) di106 on TIMESTAMP: イベント発生日時

di106off	(TIMESTAMP) di106 off TIMESTAMP: イベント発生日時
di107on	(TIMESTAMP) di107 on TIMESTAMP: イベント発生日時
di107off	(TIMESTAMP) di107 off TIMESTAMP: イベント発生日時
wanthresh	(TIMESTAMP) wanthresh((KBYTES) kbytes since (STARTDATE)) TIMESTAMP: イベント発生日時 KBYTES: 送受信量(kbytes) STARTDATE: カウント開始日
wanreport	(TIMESTAMP) wanreport((KBYTES) kbytes since (STARTDATE)) TIMESTAMP: イベント発生日時 KBYTES: 送受信量(kbytes) STARTDATE: カウント開始日
showconfig	("show config"の出力内容)
showlog	("show log"の出力内容)
showall	("show all"の出力内容)
keepalivefailure	(TIMESTAMP) keepalivefailure domain=(0-4) target=(TARGET) TIMESTAMP: イベント発生日時 0-4: 接続先登録番号 TARGET: PING 送信先ホストの IP または FQDN
pppconnected	(TIMESTAMP) pppconnected domain=(0-4) ipaddress=(IP) TIMESTAMP: イベント発生日時 0-4: 接続先登録番号 IP: WAN 側 IP アドレス

備考

本文付加文字列設定を行っている場合は、上記本文の前に付加します。

備考 2

本文付加文字列設定にテンプレートを使用する場合は、上記本文は送信されません。

関連項目

本文付加文字列は「5.3 イベント設定」を参照してください。

13.4 RAM ディスク

RAM ディスクについて

本装置は起動時に RAM ディスクを作成します。サイズは 16MBytes です。主にパケットキャプチャで利用します。格納しているファイルは電源断あるいは再起動時に消えます。ファイルは Web 管理画面経由でダウンロードできます。また、SD カードにコピーすることができます。

関連項目

パケットキャプチャは「9.14 パケットキャプチャの実行」を参照してください。
SD カードへのコピーは「9.3 RAM ディスクから SD カードへファイルコピー」を参照してください。
技術サポート情報の保存は「9.2 技術サポート情報の保存」を参照してください。
ファイル削除は「9.4 ファイルの削除」を参照してください。
ファイル一覧表示は「9.12 ファイル一覧表示」を参照してください。

13.5 ファイル作成

作成するファイル名

装置が作成するファイル名は以下のとおりです。

種別	ファイル名
ログファイル	CURRENT.LOG
設定ファイル	CURRENT.CFG
技術サポート情報ファイル	CURRENT.TSP
パケットキャプチャファイル	CURRENT.CAP
データファイル	CURRENT.DAT

ファイルバックアップ

装置がファイルを作成しようとした時に、出力先ディレクトリに同じ名前のファイルが存在していた場合、既存ファイルの名前を次のように変更します。ただし、この時にモバイル時刻同期が行われていなかった場合は、最新のバックアップファイル名の連番に 1 を加えたファイル名になります。

ファイル名書式	説明
YYMMDDSS.(EXT)	YYMMDD: 元のファイルの作成日付 (YY:年 (00-99), MM:月 (01-12), DD:日 (01-31)) SS: バックアップファイル名が重複しないようにする連番です。00 が一番古く数字が増える毎に新しくなります。 EXT: 元のファイルの拡張子

ファイルローテート

ログファイル、パケットキャプチャファイルについては書き込み中のファイル("CURRENT.*")のサイズが一定サイズを超えた場合、上記要領でファイルをバックアップします。新しくファイル("CURRENT.*")を作成して記録を続けます。ローテートを行うサイズは次のとおりです。

種別	サイズ
ログファイル	256 KBytes
パケットキャプチャファイル	2 MBytes

保存世代数

バックアップファイル数が一定個数を超えた場合、一番古いファイルを削除します。個数は次のとおりです。

種別	個数
ログファイル	30
設定ファイル	5
技術サポート情報ファイル	SD カードの場合: 20 RAM ディスクの場合: 5
パケットキャプチャファイル	SD カードの場合: 20 RAM ディスクの場合: 5
データファイル	SD カードの場合: 20 RAM ディスクの場合: 5

13.6 アンテナログの出力形式

アンテナログ出力形式

アンテナログはアンテナレベルなどの情報を定期的にログ出力する機能です。出力する内容は機種によって異なります。

機種	出力形式
AS-250/S	antenna=(ANT) band='(BAND)' rscp=(RSCP) ecio=(ECIO) network=(NETWORK) ppp=(PPP) [ipdialin=(IPDIALIN)]
AS-250/F-SC	antenna=(ANT) band='(BAND)' rscp=(RSCP) ecio=(ECIO) network=(NETWORK) ppp=(PPP)
AS-250/F-K0	antenna=(ANT) drpw=(DRPW) network=(NETWORK) ppp=(PPP)
AS-250/KL	antenna=(ANT) network=(NETWORK) ppp=(PPP)
AS-250/NL, AS-250/SL	LTE 接続時: antenna=(ANT) rat=LTE rssi=(RSSI) band=(BAND_NUM) rsrp=(RSRP) rsrq=(RSRQ) network=(NETWORK) ppp=(PPP) WCDMA 接続時: antenna=(ANT) rat=WCDMA rssi=(RSSI) band=(BAND_NUM) rscp=(RSCP) ecio=(ECIO) network=(NETWORK) ppp=(PPP)

値

値について以下に説明します。

値	説明
ANT	現在のアンテナレベルを示します。
BAND	利用中の周波数帯を示します。 "WCDMA IMT 2000": 2.1GHz 帯 "WCDMA 800": 800MHz 帯 "WCDMA 900": 900MHz 帯 AS-250/S および AS-250/F-SC でのみ表示します。
BAND_NUM	利用中の周波数帯を番号で示します。 値が 0 の場合、周波数帯取得に失敗したことを示します。 AS-250/NL, AS-250/SL で表示します。
RSCP	RSCP (希望波受信電力) 値を示します。 AS-250/S, AS-250/F-SC, AS-250/NL で表示します。
ECIO	Ec/Io (希望信号電力対干渉電力比) 値を示します。 AS-250/S, AS-250/F-SC, AS-250/NL で表示します。
DRPW	受信電力指標値を示します。 AS-250/F-K0 でのみ表示します。
NETWORK	"not_registered": 未登録 "registered": 登録済み (圏内) "searching": 検索中 "denied": 登録拒否 "unknown": 不明

	"registered(roaming)": 登録済み(国際ローミング)
PPP	"offline": PPP 切断中 "online(rx=(RX), tx=(TX))": PPP 接続中 RX: PPP 受信フレーム数(接続確立してからの累積) TX: PPP 送信フレーム数(接続確立してからの累積)
IPDIALIN	IP 着信(Always-on 接続) 状態 "disconnected": IP 着信不能 "connected": IP 着信可能 "connecting": IP 着信待ち受け準備中 "unknown": 不明 AS-250/S において ipdialin 設定を行っている場合にのみ表示します。
RSSI	RSSI(受信信号強度)値を示します。 AS-250/NL, AS-250/SL で表示します。
RSRP	RSRP(基準信号受信電力)値を示します。 AS-250/NL, AS-250/SL で表示します。
RSRQ	RSRQ(基準信号受信品質)値を示します。 AS-250/NL, AS-250/SL で表示します。

13.7 OTA 実施(AS-250/X)

AS-250/X における OTA 機能について説明します。

OTASP 実施

通信モジュールを初めて利用する場合は回線利用開始手続き(OTASP)を行う必要が有ります。telnet コマンドラインより"ota sp"コマンドを実行するか、OTA ボタンを押してください。電波の良い状況で行なってください。

```

> ota sp                                OTASP 実施
OTASP is triggered
AT@30
OK
OTASP1
OTASP2
OTASP3
OTASP4
OTASP5
OTASP6
OTASP0K
OTASP is completed successfully.        OTASP 成功

```

OTAPA 実施

回線解約手続き(OTAPA)は telnet コマンドラインより"ota pa"コマンドを実行してください。電波の良い状況で行なってください。

```

> ota pa                                OTAPA 実施
OTAPA is triggered
AT@31
OK
OTAPA1
OTAPA2
OTAPA3
OTAPA4
OTAPA5
OTAPA6
OTAPA0K
OTAPA is completed successfully.        OTAPA 成功

```

OTA 処理中の LED

OTASP/OTAPA 実行時は、データ送受信の都度 SessionLED が緑点滅し、OTASP/OTAPA に成功すると 5 秒間の緑点灯に変わります。OTASP/OTAPA が失敗した場合は 5 秒間赤点灯します。

13.8 OTA 実施(AS-250/KL)

AS-250/KLにおける OTA 機能について説明します。

SIM について

AS-250/KL では、モジュール内蔵 SIM および外部 SIM(SIM カードスロット)のいずれかを選択して利用します。AS-250/KL は外部 SIM の利用を優先するので、内蔵 SIM を利用する場合は SIM カードスロットにカードを挿入しないでください。

OTASP 実施

SIM カードあるいは内蔵 SIM を初めて利用する場合は回線利用開始手続き(OTASP)を行う必要が有ります。OTASP は網経由で SIM 状態を変更します。アンテナを接続して telnet コマンドラインより"ota sp"コマンドを実行してください。処理の途中で AS-250/KL は再起動します。

> show module sim	SIM 情報の確認
SIM : External	←外部 SIM 選択中
ICCID : XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
ROM : Gray	←灰 ROM であること
> ota sp	OTASP 実施
Waiting for response...	
OTASP1	
OTASP2	
OTASP3	
OTASP4	
System will reboot.	
Connection closed by foreign host.	←TELNET 強制切断
しばらくして AS-250/KL は再起動します。	

OTASP 処理中の LED 表示

"ota sp"コマンド投入後、AntennaLED と SessionLED によって状態表示を行います。

状態	LED 表示
OTASP1 から OTASP4 まで	AntennaLED および SessionLED が赤点滅
再起動中	AntennaLED および SessionLED が消灯
処理完了まで	AntennaLED および SessionLED が赤点滅
処理完了後	AntennaLED, SessionLED は通常表示(それぞれアンテナレベルと PPP 接続状態を表示)

OTASP 処理結果確認

AntennaLED および SessionLED が通常表示となったのを確認してから TELNET ログインしてログを参照してください。

> show log	ログ表示
...	
123 2014/11/11 16:00:10 (-1) FutureNet System Starting...	
124 2014/11/11 16:00:11 (-1) On-demand connect mode.	

125 2014/11/11 16:00:12 (-1) waiting for OTA complete.	←OTA 完了待ち
126 2014/11/11 16:00:12 (-1) OTASPOK	←OTASP 完了
...	
> show module sim	SIM 情報の確認
SIM : External	
ICCID : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
ROM : Black	←黒 ROM であること

OTAPA

回線解約処理(OTAPA)は網側から行われます。回線解約申込みをしたあと AS-250/KL を圏内状態で通電しておいてください。

> show log	ログ表示
...	
223 2014/11/11 17:00:39 (5) OTAPAST	←OTAPA 開始
224 2014/11/11 17:00:40 (5) OTAPA1	
225 2014/11/11 17:01:07 (5) OTAPA2	
226 2014/11/11 17:01:08 (5) OTAPA3	
227 2014/11/11 17:01:54 (5) OTAPA4	
228 2014/11/11 17:01:54 (5) OTAPAOK	←OTAPA 完了
...	

関連項目

ota コマンドは「3.33 OTA 実施」を参照してください。

13.9 省電力動作モード

省電力動作モード仕様について説明します。

動作モードの種別

省電力動作モードには次の 2 種類があります。

種別	説明
省電力モード 1	CPU およびイーサネット PHY などの周辺回路の電源を切るモードです。通信モジュールと信号監視回路のみが稼働しています。
省電力モード 2	CPU およびイーサネット PHY を低消費電力動作させるモードです。CPU 内蔵タイマにより自律復旧できます。省電力モード 1 より消費電力が高くなります。 このモードでは省電力動作状態を最大で約 48 日間維持できます。その期間を超えると、スケジュール設定にかかわらず自動的に復旧して通常の起動状態になります。 本モードは初期に出荷された製品は対応していません。

省電力モード 2 対応版かどうかの確認

"show product"コマンドで省電力モード 2 に対応しているかどうかを確認できます。

```
> show product
ProductName      : AS-250/F-SC
SerialNumber     : 01234567890
MACaddress       : 00:80:6d:XX:XX:XX
Bootloader       : build 13
Firmware         : v1.9.0 build 1
Firmware MD5     : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
RSPort           : RS-232
PSMode2         : Supported
Dionoff wakeup  : Not Supported
```

←"Supported":対応、"Not Supported":非対応

省電力動作モードへの移行

次の条件がそろえば省電力動作モードへ移行します。スケジュール("schedule"コマンド)が設定されている場合は省電力モード 2、そうでない場合は省電力モード 1 へ移行します。ただし、"standby"コマンドによる強制モード移行の場合は、下記条件は無視します。

- 省電力モードが有効化されている。("powersaving activate"コマンド)
- PPP 待ち受け状態が指定期間経過した。("powersaving idletimer"コマンド)
- TELNET 接続中でない。
- メール送信中でない。
- シリアル/TCP 変換機能の TCP 接続中でない。
- 緊急地震速報メッセージ出力中でない。(AS-250/X, AS250/KL)
- 接点パルス出力タイマが動作していない。
- 1 分以内にスケジュール実行予定がない。
- HTTP POST/PUT クライアントがレスポンス待ち、再送中でない。

省電力動作モードからの復旧

復旧のトリガーは次のとおりです。

- RS ポート DSR OFF→ON ("rsport"コマンドによる設定要)
- DI OFF→ON ("di"コマンドによる設定要)
- DI ON→OFF ("di"コマンドによる設定要。非対応のハードでは利用できません。"show product"出力中の "Dlonoff wakeup"で対応ハードかどうかを確認してください。)
- IP 着信(AS-250/NL を除く)
- SMS 受信(AS-250/S, AS-250/F-SC, AS-250/F-KO, AS-250/NL)
- スケジュール実施時刻になった(省電力モード 2)
- 省電力モードになってからの時間が最大時間に達した(省電力モード 2)

省電力モード 2 非対応機における制限

省電力モード 2 非対応機においては、スケジュール設定と省電力モード設定を同時に行うことはできません。

関連項目

powersaving コマンドは「8 省電力動作モード」を参照してください。

強制モード移行は「8.4 強制的に省電力動作モードへ移行する」を参照してください。

13.10 テンプレートの利用

テンプレートの利用

テンプレートは以下の機能で利用することができます。

- HTTP POST/PUT クライアント機能のリクエスト本文
- log output コマンド
- evcmd コマンド
- schedule コマンド
- delay コマンド
- mail event コマンド

応用例 1

外部 HTTP サーバへ入力接点変化を通知する設定を示します。

> template 0 '["timestamp":"\${NOW}", "di0":"\${DIO}"]'	POST 本文内容登録
> evcmd 0 di0on wpost http://test.example/post none template:0	DIO ON 変化時に POST 送信
> evcmd 1 di0off wpost http://test.example/post none template:0	DIO OFF 変化時に POST 送信

応用例 2

各種状態を定期的にログ出力する設定を示します。

> template 0 '\${ANT}, \${WANXCNT}, \${WANTXCNT}'	アンテナ値、モバイル通信量
> schedule 0 *:*:* log output template:0	1 分毎にログ出力

応用例 3

DI 変化時にメールを送信する設定を示します。件名と本文にテンプレートを使用します。

> mail server 0 smtp mail.example.test 587	
> mail server 0 auth smtp userid password	
> mail peer 0 user@example.test	
> mail peer 0 di0on on	
> mail event di0on subject template:0	件名にテンプレート 0 番を使用
> mail event di0on message template:1	本文にテンプレート 1 番を使用
> template 0 'from AS-250 (\${SERIAL})'	件名にシリアル番号を埋め込む
> template 1 時刻=\${NOW} \$[BL]DIO=\${DIO}	本文に時刻と DIO 状態を埋め込む

関連項目

- template コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。
- HTTP POST クライアントは「4.16 HTTP POST クライアント」を参照してください。
- HTTP PUT クライアントは「4.17 HTTP PUT クライアント」を参照してください。
- log output コマンドは「10.32 ログの出力」を参照してください。
- evcmd コマンドは「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。
- schedule コマンドは「10.11 スケジュール」を参照してください。
- delay コマンドは「10.34 コマンドの遅延実行」を参照してください。

13.11 ダイナミック DNS

WarpLinkDDNS

WarpLinkDDNS は弊社が提供するダイナミック DNS サービスです。"ddns"コマンドにより設定して利用します。利用には申込みが必要です。サービス詳細については弊社営業部までお問い合わせください。

その他の DDNS サービス

その他の DDNS サービスについては、HTTP リクエストにより更新する方式のものであれば利用できる可能性が有ります。以下いくつかのサービスにおける設定例を示します。PPP 接続完了イベント発生時に、HTTP リクエストを送信します。設定例中の URL は 2015 年 2 月現在のものです。

DynDNS

```
evcmd 0 pppconnected wget http://members.dyndns.org/nic/update?hostname=(登録した FQDN) basic:(ユーザー名):(パスワード) none 5 5
```

MyDNS

```
evcmd 0 pppconnected wget http://www.mydns.jp/login.html basic:(ユーザー名):(パスワード) none 5 5
```

関連項目

WarpLinkDDNS の設定は「4.15 DDNS クライアント」を参照してください。
イベント発生時のコマンド登録は「10.31 イベント発生時に実行するコマンドの登録」を参照してください。
HTTP GET リクエストは「4.18 HTTP GET クライアント」を参照してください。

13.12 MODBUS 実装仕様

サポートするファンクション

本機がスレーブとして動作する場合、次のファンクションに対して応答します。

ファンクション番号	説明
1	コイル読み出し (Read Coils)
2	入力ステータス読み出し (Read Discrete Inputs)
3	保持レジスタ読み出し (Read Holding Registers)
4	入力レジスタ読み出し (Read Input Registers)
5	単一コイル書き込み (Write Single Coil)
6	単一保持レジスタ書き込み (Write Single Register)
8	診断 (Diagnostics) サブファンクション=0 (Return Query Data) のみ実装しています。
15	複数コイル書き込み (Write Multiple Coils)

MODBUS/TCP ユニット ID

TCP サーバが受信したクエリーは、MBAP ヘッダ内のユニット ID によって動作が変わります。

ユニット ID	動作
0 または 255	本機宛のクエリーとみなし、本機レジスタの参照/制御を行い、レスポンスを TCP クライアントへ送信します。
上記以外	本機につながっているスレーブデバイス宛とみなし、スレーブデバイスに対してクエリーを転送します。スレーブデバイスから受信したレスポンスを TCP クライアントへ送信します。 宛先スレーブデバイスは、スレーブマップ ("mb slavemap" コマンド) で決定します。

関連項目

スレーブマップは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

13.13 MODBUS レジスタ

コイル

コイル一覧を示します。コイルでは、1ビットの読み書きができます。主に接点出力の制御、状態の取得に用います。

レジスタアドレス	説明
0-1	接点出力 0-1 1: ON 0: OFF
100-107	仮想接点入力 100-107 1: ON 0: OFF
4000-65535	レジスタマップ用領域

入カステータス

入カステータス一覧を示します。入カステータスでは、1ビット値の読み込みができます。書き込みはできません。接点入力の状態取得に用います。

レジスタアドレス	説明
0-1	接点入力 0-1 1: ON 0: OFF
4000-65535	レジスタマップ用領域

保持レジスタ

保持レジスタ一覧を示します。保持レジスタでは 16 ビット値の読み書きができます。

レジスタアドレス	説明
4000-65535	レジスタマップ用領域

入力レジスタ

入力レジスタ一覧を示します。入力レジスタでは 16 ビット値の読込ができます。書き込みはできません。

レジスタアドレス	説明
4000-65535	レジスタマップ用領域

レジスタアドレスとレジスタ番号

レジスタ番号は、上記 4 種類のレジスタを 1 つの空間に割り当てた表記方法です。表記方法に 5 桁表記と 6 桁表記があります。

レジスタ番号 5 桁表記

番号下 4 桁から 1 を引いた値がレジスタアドレスになります。レジスタ 9999 以降を表示したい場合は 6 桁表記を使用してください。

レジスタ番号	レジスタアドレス
1-9999	コイルレジスタ 0-9998
10001-19999	入カステータスレジスタ 0-9998
30001-39999	入力レジスタ 0-9998
40001-49999	保持レジスタ 0-9998

レジスタ番号 6 桁表記

番号下 5 桁から 1 を引いた値がレジスタアドレスになります。100000 未満の番号を表示する場合は、5 桁表記と区別するために 0 でパディングしてください。例: 000101

レジスタ番号	レジスタアドレス
000001-065536	コイルレジスタ 0-65535
100001-165536	入力ステータスレジスタ 0-65535
300001-365536	入力レジスタ 0-65535
400001-465536	保持レジスタ 0-65535

13.14 バッテリー容量レベル

バッテリー容量レベル

バッテリー容量レベルは、バッテリー電圧に応じて-1 から 3 の値を対応付けたものです。

レベル	説明
3	2.8 ボルト超過 バッテリーレベル LED は緑点灯となります。
2	2.6 ボルト超過 バッテリーレベル LED は緑点滅となります。
1	2.4 ボルト超過 バッテリーレベル LED は赤点滅となります。
0	2.4 ボルト以下 バッテリーレベル LED は赤点灯となります。
-1	1 ボルト以下 バッテリーレベル LED は消灯となります。 外部電源稼働中かつバッテリー未接続状況です。

13.15 置換キーワード

キーワードの利用

キーワードは"template"コマンド、"data field"コマンドで利用することができます。"template"コマンドで利用する場合はキーワードの前に"\${"を、後ろに"}"を付加してください。例: \${ANT}

template,data コマンドで利用できるキーワード

次のキーワードは"template"コマンドおよび"data"コマンドで利用できます。

キーワード	説明
ANT	アンテナレベル(-1..5)に置換します。
DIO	接点入力 0 の状態("off"/"on")に置換します。
DI1	接点入力 1 の状態("off"/"on")に置換します。
D00	接点出力 0 の状態("off"/"on")に置換します。
D01	接点出力 1 の状態("off"/"on")に置換します。
DI100..DI107	仮想接点入力 100-107 の状態("off"/"on")に置換します。
D0100..D0107	仮想接点出力 100-107 の状態("off"/"on"/"fail")に置換します。
FIRMVER	稼働中のファームウェアバージョンに置換します。 例: v2.2.0build1
HOSTNAME	ホスト名に置換します。
LAT	緯度に置換します。 GPS 非対応、GPS 機能無効、アンテナ未接続、未測位の場合は空文字となります。
LON	経度に置換します。 GPS 非対応、GPS 機能無効、アンテナ未接続、未測位の場合は空文字となります。
MACADDR	イーサネット MAC アドレスに置換します。 例: 00:80:6d:7a:c0:0a
MB_(MODBUS レジスタ番号) [(修飾子)]	本装置の MODBUS レジスタ値を 10 進数で置換します。 入力レジスタと保持レジスタについては、修飾子で長さや符号を指定できます。省略すると符号付き 16 ビット値となります。 修飾子: "h": 符号付き 16 ビット値 "H": 符号なし 16 ビット値 "l": 符号付き 32 ビット値 "L": 符号なし 32 ビット値 "q": 符号付き 64 ビット値 "Q": 符号なし 64 ビット値 例: レジスタ番号 10001 (DIO に対応するレジスタ) キーワード=MB_10001 値=0 または 1

	例: レジスタ番号 34001, 34002 を符号なし 32 ビット値で参照 キーワード=MB_34001, L 値=0 から 4294967295
MEMO	"memo"コマンドで設定した備考文字列に置換します。
NOW	現在時刻に置換します。 例: 2014/12/12-18:45:30
PRODUCT	製品名に置換します。 例: AS-M250/KL
RSCTS	RS ポート CTS 信号状態("off"/"on")に置換します。
RSDSR	RS ポート DSR 信号状態("off"/"on")に置換します。
SERIAL	装置シリアル番号に置換します。 例: 10230199999
WANIP	WAN 側 IP アドレスに置換します。 未接続の場合は、"0.0.0.0"となります。
WANRXCNT	モバイル受信バイト数に置換します。キロバイト単位です。 モバイル通信量カウンタが停止している場合は 0 となります。
WANTXCNT	モバイル送信バイト数に置換します。キロバイト単位です。 モバイル通信量カウンタが停止している場合は 0 となります。

template コマンドで利用できるキーワード

次のキーワードは"template"コマンドでのみ利用できます。

キーワード	説明
BL	改行コード(CRLF)に置換します。
CR	改行コード(CR)に置換します。
DOLLER	'\$' に置換します。
LF	改行コード(LF)に置換します。
QUOTE	シングルクォートに置換します。
show (show コマンド引数)	"show"コマンドの出力内容に置換します。
TAB	タブコード(0x09)に置換します。

関連項目

"template"コマンドは「10.28 テンプレート登録」を参照してください。

"data field"コマンドは「12.1 データ定義」を参照してください。

MODBUS レジスタ番号は「13.13 MODBUS レジスタ」を参照してください。

13.16 モバイル時刻同期

モバイル時刻同期

本機はモバイル網から時刻情報を取得し、本機の時刻として設定します。

時刻同期のタイミング

時刻同期のタイミングは機種によって異なります。

機種	同期タイミング
AS-250/X	起動直後と、その後 1 分毎に同期します。
AS-250/S, AS-250/F-SC, AS-250/F-K0, AS-250/KL, AS-250/NL, AS-250/SL	起動後に初めて圏内になった時と、その後 5 分毎に同期します。

時刻同期のログ出力

起動してから最初の時刻同期の際には、ログに同期した時刻を出力します。

> show log	ログ表示
...	
65 2017/11/06 23:44:44 (0) [NORMAL] sync to "2017/11/06 23:44:44" ←モバイル時刻同期	
...	

13.17 SSL/TLS

対応バージョン

本機は TLS1.0/1.1/1.2 に対応しています。

対応暗号スイート

本機は以下の暗号スイートに対応しています。

- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_SHA
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_MD5

内蔵ルート証明書

本機が内蔵するルート証明書は、"show cert embca"コマンドで確認できます。

サーバ証明書検証のスキップ

本機の SSL クライアント機能は、デフォルトではサーバ証明書を検証しますが、本機がサーバ証明書に対応するルート証明書を内蔵していない場合、サーバ証明書検証をスキップすることができます。この場合、サーバが十分に信頼できることを確認して下さい。

サーバ証明書検証のスキップ方法

コマンド引数に URL を与える場合、"https://"の代わりに"https-://"と指定することで、サーバ証明書の検証をスキップすることができます。その他の SSL クライアントコマンドでサーバ証明書の検証をスキップする方法は、各コマンドの説明を参照して下さい。

関連項目

show cert embca コマンドは「10.35 本機に内蔵されたルート証明書の表示」を参照してください。

外部 SMTP サーバの登録設定は「5.1 外部 SMTP サーバの登録」を参照してください。

SSL トランスペアレントモードの設定は「6.3 シリアル/IP 変換機能」を参照してください。

Modbus スレーブマップは「11.1 MODBUS スレーブマップ」を参照してください。

コマンド一覧

alwaysonconnect activate (FLAG)	37
alwaysonconnect domainname (DOMAINNAME)	37
autoreboot activate (FLAG)	150
autoreboot time (HH)[: (MM)]	150
clear (TARGET)	164
clr	158
config load (DISK):(FILENAME)[(TIMEOUT)]	181
config load (URL)[(AUTH)[(TIMEOUT)]]	181
connect[(DOMAINID)]	34
copy config (DEST)	128
copy config temporary[(TIMEOUT)]	128
copy ramdisk:(FILENAME) extmem	130
copy tech-support (DEST)	129
data dest m2mcloud (M2MCLOUD_FLAG)	197
data field (FIELDNO) (FIELDNAME) (FIELDVALUE)	197
data field (FIELDNO) delete	197
data record	198
ddns activate (FLAG)	85
ddns domain (DOMAINID)	85
ddns firmupdate (FIRMUPDATE)	85
ddns password (PASS)	85
ddns periodic (PERIODIC)	85
ddns regip (REGIP)	85
ddns userid (USER)	85
delay (DELAYID) (TIMEOUT) (COMMAND)	182
delay (DELAYID) cancel	182
delete file (DISK):(FILENAME)	131
dhcp activate (FLAG)	76
dhcp client (ID) (MAC) (IPADDRESS)	78
dhcp client (ID) delete	78
dhcp gateway (GATEWAY)	76
dhcp leasetime (LEASETIME)	76
dhcp mask (MASK)	76
dhcp noofip (NOOFIP)	76
dhcp pridns (DNSSERV)	76
dhcp secdns (DNSSERV)	76
dhcp startip (STARTIP)	76
dhcp wins (WINS)	76
di (CHANNEL) debounce (TIME)	117
di (CHANNEL) powerontrigger (FLAG)	117
di (CHANNEL) powerontrigger2 (FLAG)	117
di (CHANNEL) powersavingresettrigger (FLAG2)	117
dig (NAME)	172
disconnect	35
dnscache clear	84
dnscache hostttl (TTL)	80
dnscache ttlmanualmode (TTLMODE)	82
dnscache ttlsetting (TTLMIN) (TTLMAX)	82
dnsrelay activate (FLAG)	79
dnsrelay clear serverdomain	79
dnsrelay primarydns (DNSSERV)	79

dnsrelay secondarydns (DNSSERV)	79
dnsrelay serverdomain (DOMAIN).....	79
dnsrelay serverpolicy (POLICY).....	79
do (CHANNEL) initialctrl (INIT)	118
do (CHANNEL) map delete	121
do (CHANNEL) map modbus (SLAVE) (REGISTER)[(COUNT)[(INTERVAL)]].....	121
do (CHANNEL) off[(HOLD)]	119
do (CHANNEL) on[(HOLD)]	119
do (CHANNEL) powersaving (POWERSAVING)	118
do * (CTRL)[(HOLD)].....	119
domain (DOMAINID) (APN) (USER) (PASS) (DEST) (WANIP)	32
domain (DOMAINID) (DOMAIN) (USER) (PASS) (DEST) (METRIC).....	33
domain (DOMAINID) delete	32
domain (DOMAINID) delete	33
domain (DOMAINID) keepalive host (DEST)[(COUNT)[(INTERVAL)]]	38
domain (DOMAINID) keepalive onfailure (ACTION).....	38
domain (DOMAINID) pdptype (PDPTYPE)	32
domain (DOMAINID) pppauth (PPPAUTH).....	32
dsr powerontrigger (FLAG)	124
dump (INTERFACE) (DEST)[(SNAPLEN)[(MAXCOUNT)]]	141
dump stop	141
emg activate (FLAG).....	68
evcmd (EVCMDID) (EVENT) (COMMAND).....	177
evcmd (EVCMDID) delete.....	177
extmem dir1 (DIRECTORY1)	133
extmem dir2 (DIRECTORY2)	133
extmem export (DIRECTORY).....	136
extmem load boot (FLAG)	135
extmem load config (FLAG)	134
extmem load firmware (FLAG).....	135
extmem logging (FLAG).....	137
extmem mount.....	132
extmem umount.....	132
filter (ID) (ACT) (DIR) (SIP) (DIP) (PROTO) (SPORT) (DPORT) ppp1.....	28
filter (ID) delete.....	28
firmware update (DISK):(FILENAME)	167
firmware update (URL)[(AUTH)[md5:(MD5 URL)]]	167
flag menutimeout (TIMER).....	72
hostfile (ID) (HOSTNAME) (IPADDRESS)	80
hostfile (ID) delete.....	80
hostname (HOSTNAME).....	173
http-server https (HTTPS_FLAG).....	74
http-server httpsport (HTTPS_PORT).....	74
http-server port (HTTP_PORT)	74
interface (DOMAINID) (CONF)[(PEERIP)]	29
ipdialin (DOMAINID) (FLAG)	40
log clear	162
log output (LEVEL) (MESSAGE)	180
log output template:(TEMPLATEID)	180
m2mcloud connect	93
m2mcloud connecttrigger (TRIGGER)	91
m2mcloud disconnect.....	93

m2mcloud inactivitytimer (TIMER)	91
m2mcloud password[(PASSWORD)]	91
m2mcloud termid[(TERMID)]	91
m2mcloud userid[(USERID)]	91
mail event (EVENT) message[(MESSAGE)]	99
mail event (EVENT) subject[(SUBJECT)]	99
mail peer (PEERID) (MAILADDRESS).....	97
mail peer (PEERID) delete	97
mail peer (PEERID) notify (EVENT) (FLAG)[server (SERVERID)]	97
mail server (SERVERID) auth (AUTHTYPE)[(USER) (PASS)]	95
mail server (SERVERID) delete.....	95
mail server (SERVERID) fromaddress[(MAILADDRESS)]	95
mail server (SERVERID) pop[(POPSERVER)[(POPPORT)]].....	95
mail server (SERVERID) smtp (SMTPSERVER)[(SMTPPORT)]	95
mail server (SERVERID) ssl (SSLFLAG)	95
mail server (SERVERID) verifycert (VERIFYFLAG)	95
mail show (KIND).....	100
main gateway (GATEWAY).....	15
main ip (IPADDRESS).....	14
main mask (NETMASK).....	14
main packetforwarding (FLAG).....	39
main password (PASSWORD).....	145
mb ping (SLAVE)[(COUNT)]	193
mb query (SLAVE) read_coils (REG) (BITNUM)	192
mb query (SLAVE) read_discrete_inputs (REG) (BITNUM).....	192
mb query (SLAVE) read_holding_registers (REG) (REGNUM)	192
mb query (SLAVE) read_input_registers (REG) (REGNUM)	192
mb query (SLAVE) write_single_coil (REG) (FLAG)	192
mb query (SLAVE) write_single_register (REG) (VAL)	192
mb regmap (LOCALREGNO) (SLAVE) (REMOTEREGNO) (REGNUM)[(INTERVAL)]	194
mb regmap (LOCALREGNO) delete.....	194
mb responsedelay (DELAY)	190
mb responsetimer (TIMER)	191
mb slavemap (SLAVE) delete	185
mb slavemap (SLAVE) rs1[(REAL_SLAVE)]	185
mb slavemap (SLAVE) ssl (SSL_HOST)[(UNIT_ID)]	185
mb slavemap (SLAVE) ssl- (SSL_HOST)[(UNIT_ID)]	185
mb slavemap (SLAVE) tcp (TCP_HOST)[(UNIT_ID)]	185
mb ssl-server (FLAG)	189
mb ssl-server port (PORT)	189
mb tcp-client inactivitytimer (TIMER)	187
mb tcp-client keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	187
mb tcp-server (FLAG).....	188
mb tcp-server inactivitytimer (TIMER)	188
mb tcp-server keepalive (KEEPALIVETIME) (INTERVAL) (RETRY)	188
mb tcp-server port (PORT).....	188
memo[(MEMO)]	157
module chkant (FLAG)	53
module dialfailrestart (FLAG)[(COUNT)].....	62
module gps (FLAG)	58
module gpsdomain (DOMAINID)	59
module gpsmode (MODE)	59

module gpowersaving (FLAG)	60
module ipupfailrestart (FLAG)[(COUNT)]	62
module logantenna (INTERVAL)	52
module rat (RAT)	54
module update start	67
nat (ID) (PRIVATEIP) (PROTO) (PORT) ipcp[(PORTFORWARD)]	22
nat (ID) delete	22
natsession clear	27
natsession tcp inactivitytimer (TIMER)	24
oosreset activate (FLAG)	63
oosreset time (TIMER)	63
ota pa	66
ota sp	66
packetspeed (SPEED)	69
ping [-t] [-n (COUNT)] [-l (SIZE)] [-w (TIMEOUT)] (DEST)	171
powersaving activate (FLAG)	123
powersaving idletimer (TIMER)	123
ppp_interval (TIMER)	43
quit	73
reboot[module]	149
restart	148
risignalholdtime (HOLDTIME)	68
route (ID) (DESTINATION) (GATEWAY) (METRIC)	16
route (ID) delete	16
rshttp 1 authentication (AUTHTYPE)	113
rshttp 1 contenttype (CONTENTTYPE)	113
rshttp 1 delimiter (DELIMITER)	113
rshttp 1 messagesize (MESSAGESIZE)	113
rshttp 1 messagetimer (MESSAGETIMER)	113
rshttp 1 method (METHOD)	113
rshttp 1 password (PASSWORD)	113
rshttp 1 retrycount (RETRYCOUNT)	113
rshttp 1 retryinterval (RETRYINTERVAL)	113
rshttp 1 senddelimiter (SENDELIMITER)	113
rshttp 1 serverurl (URL)	113
rshttp 1 token (TOKEN)	113
rshttp 1 useddelimiter (USEDDELIMITER)	113
rshttp 1 username (USER)	113
rsport 0 downpacketmonitor (DOWN)	41
rsport 0 forcedtimeout (TIMER)	42
rsport 0 inactivitytimer (TIMER)	41
rsport 0 lcpkeepalive (FLAG)	44
rsport 0 lcpkeepaliveinterval (INTERVAL)	44
rsport 0 lcpkeepaliveretry (COUNT)	44
rsport 0 uppacketmonitor (UP)	41
rsport 1 baudrate (BAUDRATE)	103
rsport 1 bufferclear (BUFFERCLEAR)	106
rsport 1 connectaddress (CONNECTADDRESS)	106
rsport 1 connectaddress2 (CONNECTADDRESS2)	106
rsport 1 connectport (CONNECTPORT)	106
rsport 1 connectport2 (CONNECTPORT2)	106
rsport 1 connecttimeout (CONNECTTIMEOUT)	106

rsport 1 connecttrigger (CONNECTTRIGGER)	106
rsport 1 convmode (CONVMODE)	104
rsport 1 databits (DATABITS)	103
rsport 1 disconnectdelimiter (DELIMTER).....	106
rsport 1 disconnecttrigger (DISCONNECTTRIGGER)	106
rsport 1 dtrctrl (DTRCTRL)	104
rsport 1 duplex (DUPLEX)	103
rsport 1 flowctrl (FLOWCTRL).....	103
rsport 1 forcedtimeout (FORCEDTIMEOUT)	106
rsport 1 inactivitytimer (INACTIVITYTIMER)	106
rsport 1 modbus server (FLAG)	111
rsport 1 modbus slaveid (SLAVE)	111
rsport 1 mode (MODE)	102
rsport 1 parity (PARITY)	103
rsport 1 rtctrl (RTSCTRL)	104
rsport 1 rxidletime (RXIDLETIME)	104
rsport 1 scpcport (SCPCPORT).....	106
rsport 1 senddelimiter (SENDDDELIMTER).....	106
rsport 1 tcpkeepalive (ONOFF).....	104
rsport 1 tcpkeepaliveinterval (INTERVAL).....	104
rsport 1 tcpkeepaliveprobes (COUNT).....	104
rsport 1 tcpkeepalivetime (TIME)	104
rsport 1 terminator (TERMINATOR)	103
rsport 1 transparent (TRANSPARENT).....	106
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) (DESTHOST)[(DESTPORT)]	109
rsport 1 udpdestination (DESTINDEX) delete.....	109
rsport 1 udpsrcport (SRCPORT)	109
rsport 1 verifycert (VERIFYFLAG).....	104
rsport closetimeout (CLOSETIMEOUT)	106
rsport scfcport (SCFCPORT)	110
rtcstart (DATETIME).....	151
schedule (ID) (HOUR):(MIN) (DAY) (MON)[(COMMAND)]	155
schedule (ID) delete.....	155
show all	146
show antenna	55
show arp	18
show cert embca	183
show cert embca (ID)	183
show config	160
show config flash.....	160
show config source	160
show data.....	199
show dhcp.....	77
show di[(CHANNEL)]	120
show dnscache	83
show do[(CHANNEL)]	120
show dump	142
show etherr	19
show ethport	30
show extmem[cid]	138
show file (DISK):(FILENAME)[(COUNT)]	140
show file list (DISK):*(.EXT)	139

show file list[(DISK)].....	139
show file md5sum (DISK):(FILENAME).....	143
show gps.....	61
show hostfile	81
show icmpstat	20
show log[(COUNT)]	161
show module	64
show module sim.....	65
show naterr	25
show natsession	26
show neterr	21
show osslicense	165
show phone.....	57
show pppframe	36
show pppstat.....	36
show product	147
show route	17
show rsport	112
show schedule.....	176
show syserr.....	163
show tech-support.....	146
show template (TEMPLATEID)	175
show time	152
show uptime	153
show wancounter.....	48
sms command (FLAG).....	49
sms peer (ID) (PHONENUMBER) (RESULT)	49
sms peer (ID) delete	49
sms peer (ID) doctl (DOCTL)	49
sms peer (ID) notify (EVENT) (EVENTFLAG).....	49
sms send (PHONENUMBER) (BODY).....	51
sms sendlimit (LIMIT)	49
standby	126
syslog ipaddress (SERVER).....	166
syslog option (CATEGORY) (FLAG)	166
syslog port (PORT)	166
system config (DEST)	159
tcpdwl-server port (PORT).....	75
telnet-server port (PORT).....	71
template (TEMPLATEID) (TEMPLATE)	174
template (TEMPLATEID) delete	174
timezone (TIMEZONE)	154
vjcompression activate (FLAG)	45
wancounter reset.....	47
wancounter resetdate (DATE)	46
wancounter thresh (KBYTES)	46
wget (URL)[(AUTH)[(DEST)[(COUNT)[(INTERVAL)]]]	90
wol retry (COUNT)[(INTERVAL)]	170
wol send (MACADDRESS)[(DEST)[(PORT)]]	169
wpost (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT)[(INTERVAL)]].....	86
wpost (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT)[(INTERVAL)]]	86
wput (URL) (AUTH) (DISK):(FILENAME)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT)[(INTERVAL)]]	88

wput (URL) (AUTH) template:(TEMPLATEID)[,(CONTENTTYPE)][(COUNT)[(INTERVAL)]]..... 88

FutureNet AS-250 シリーズ コマンドリファレンス Ver.1.14.0 対応版

2020 年 10 月 改訂番号 46

発行: センチュリー・システムズ株式会社

Copyright (C) 2014-2020 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.
